

平成29年度エネルギー対策特別会計委託事業
地域住民の意識を踏まえた説明会の実施（広聴・広報事業）

委託業務成果報告書

平成30年5月
福井放送株式会社

本報告書は、文部科学省の平成29年度エネルギー対策特別会計委託事業による委託業務として、福井放送株式会社が実施した平成29年度「地域住民の意識を踏まえた説明会の実施（広聴・広報事業）」の成果を取りまとめたものです。

目 次

I. 委託業務の内容	1
1. 委託業務の題目	1
2. 実施機関	1
3. 委託業務の目的	1
4. 当該年度における成果の目標及び業務の方法	1
5. 委託業務実施期間	6
II. 業務実施時期	7

1. 委託業務の内容

1. 委託業務の題目

「地域住民の意識を踏まえた説明会の実施（広聴・広報事業）」

2. 実施機関

住 所 福井県福井市大和田 2 - 5 1 0

機関名 福井放送株式会社

3. 委託業務の目的

本業務においては、もんじゅが立地している地域の住民に対して、もんじゅの廃止措置に係る取組み等について適切に情報を提供しつつ、当該地域の住民が原子力や「もんじゅ」等に関して知りたい情報をアンケート調査等により把握し、立地地域に対するきめ細やかな情報提供等を行い、地域住民の知識の普及等を図ることを目的とした。

4. 当該年度における成果の目標及び業務の方法

(1) アンケート調査の実施

説明会の開催に先立ち、福井市、敦賀市内において地域住民対象に合計 3 1 3 件のアンケート調査を実施し集計・分析を行った。その結果、地域住民の関心がある、意見交換会時に取り上げて欲しい内容は、エネルギー開発拠点化計画（3 9. 0%）、その他、廃止措置計画（3 3. 9%）高速炉の今後（2 8. 1%）なぜ廃炉にしたのか（2 7. 2%）放射線廃棄物の減容化（2 1. 1%）等についてであった。

(2) 説明会の開催

多くの説明会参加者を得るため、事前アンケート調査の結果を考慮し、開催日程・場所を設定、敦賀市、美浜町、福井市で説明会を実施した（3回）。説明会において「もんじゅ」リーフレットを配布、配置した。

(イ) 説明会形式

もんじゅフォーラム in 敦賀 「もんじゅ」の廃止措置に係る取組み

主催： 文部科学省

開催： 平成 30 年 2 月 28 日（水）19：00～21：00

場所： きらめきみなと館

参加者：120 名（うち報道機関 8 名） 資料配布 140 部（関係者含む）

もんじゅフォーラム in 福井 「もんじゅ」の廃止措置に係る取組み

主催： 文部科学省

開催：平成30年3月4日（日）13：30～15：30

場所：福井放送本社 6階 FBC ホール

参加者：120名（うち報道機関1名） 資料配布150部（関係者含む）

もんじゅフォーラム in 美浜 「もんじゅ」の廃止措置に係る取組み

主催：文部科学省

日時：平成30年3月8日（木）19：00～21：00

場所：美浜町保健福祉センター はあとぴあ はあとホール

参加者：105名（うち報道機関2名） 資料配布125部（関係者含む）

プログラム

1. 「もんじゅ」廃止措置に係る経緯と国の取組み 15分
文部科学省 もんじゅ廃止措置対策監 明野吉成氏
2. 「もんじゅ」廃止措置への取組み 15分
日本原子力研究開発機構 理事 敦賀事業本部長代理 伊藤肇氏
3. 基調講演
「もんじゅ」の成果とこれからの役割～福井県とのつながり～ 30分
福井工業大学工学部 原子力技術応用工学科 教授 来馬克美氏
4. 意見交換会（パネルディスカッション） 55分
パネリスト 文部科学省 もんじゅ廃止措置対策監 明野吉成氏
日本原子力研究開発機構 理事 敦賀事業本部長代理 伊藤肇氏
福井工業大学工学部 原子力技術応用工学科 教授 来馬克美氏
コーディネイター フリーアナウンサーの阿部 真由美氏

意見交換会の冒頭で、事前アンケートから得られた福井県民が興味のあるテーマを3つ設定した。会場の参加者にカード型リモコンを配布し、参加者の興味があるトピックをヒアリングし投票していただいた。投票の多かった興味があるトピックの順に説明・討論を行い、参加者も交えた質疑応答等を行った。

テーマは以下の3つで行った。「廃止措置の経緯」、「廃止措置計画」、「エネルギー研究開発拠点化計画等」

〔敦賀会場風景〕



〔福井会場風景〕



〔美浜会場風景〕



〔パネル展示〕



〔意見交換会・敦賀〕

〔意見交換会・福井〕



〔意見交換会・美浜〕



〔文部科学省 もんじゅ廃止措置対策監 明野吉成氏〕



〔日本原子力研究開発機構 理事 敦賀事業本部長代理 伊藤 肇氏〕



〔福井工業大学工学部 原子力技術応用工学科教授 来馬 克美氏〕



(ロ) 周知 (事前・事後)

下記の手法にて周知を行った

- ・開催チラシ・ポスターの制作及び配布・設置
- ・開催チラシの新聞折り込み
 - 2/26 福井新聞・各種全国紙 嶺南エリア 44,500 部
 - 2/26 日刊県民福井・中日新聞 嶺南エリア 10,300 部
 - 3/2 福井新聞 福井エリア 82,025 部
 - 3/6 福井新聞 嶺南エリア 36,150 部
 - 3/6 日刊県民福井・中日新聞 嶺南エリア 10,300 部
- ・新聞広告
 - 2/24 福井新聞 半五段広告
 - 2/25 日刊県民福井 半五段広告
 - 3/1 福井新聞 半五段広告
 - 3/2 日刊県民福井 半五段広告
- ・ラジオ CM
 - [敦賀]2/21～25、F B Cラジオ、FM福井
 - [福井] 2/26～3/2、F B Cラジオ
 - [美浜]3/2～6、F B Cラジオ
- ・テレビ CM
 - [敦賀]2/21～25、F B Cテレビ、福井テレビ
 - [福井] 2/26～3/2、F B Cテレビ
 - [美浜]3/2～6、F B Cテレビ
- ・ホームページ <http://www.monjyu-forum.com>
 - 2月15日(木)～3月31日(土)
 - 開催概要告知、及びオンライン参加申込システム
 - 事後に開催報告、収録動画 WEB 掲載

(3) 業務実施に関する評価

(イ) 広聴・広報効果を把握するためのアンケート調査

広聴・広報効果を把握するために説明会においてアンケート調査を実施した。評価指標として、「基礎的な理解促進」「理解促進の実施・手法」「理解促進実施の持続」「高度な知識への興味・関心の波及」を掲げ、肯定的回答の割合から効果を測定した。

<アンケート回収結果>

- ・説明会アンケート調査 (敦賀市、美浜町、福井市)
(平成 29 年 2 月 28 日 (水)、3 月 4 日 (日)、3 月 8 日 (木))

アンケート回収数 298 件 (3 日間)

<評価指標の達成状況>

・原子力や「もんじゅ」等の基礎的な知識の理解促進

(アンケート結果目標 肯定的回答の割合：60%以上)

アンケート結果における肯定的回答の割合：83.9%

・原子力や「もんじゅ」等に関する知識の理解促進の実施・手法

(アンケート結果目標 肯定的回答の割合：60%以上)

アンケート結果における肯定的回答の割合：説明会 84.3%

・原子力や「もんじゅ」等に関する知識の理解促進実施の持続

(アンケート結果目標 肯定的回答の割合：60%以上)

アンケート結果における肯定的回答の割合：説明会 84.6%

+自由記述より評価

(説明会アンケート結果より)

・「廃止措置の現状・経緯・展望・費用について」、「もんじゅで培った技術と活用事例について」、「ナトリウム・使用済み燃料の取り出し方法、最終処分方法、処分地、スケジュールについて」、「新しい研究炉について」、「廃止措置の安全対策について」、「エネルギー基本計画の現状、展望について」、「核燃料サイクル政策の今後について」、「エネルギー研究開発拠点化計画について」、「地元雇用確保について」、「原子力関連人材育成・関連企業就職について」、「廃止措置に係る地元企業の参入機会について」知りたいという方が多く見受けられ、参加意欲が高いことが伺える内容となった。

・原子力や「もんじゅ」等に関するより高度な知識への興味・関心の波及

(アンケート結果目標 肯定的回答の割合：60%以上)

アンケート結果における肯定的回答の割合：82.4%

(ロ)「地域住民の意識を踏まえた説明会の実施(広聴・広報事業)」仕様書別添の「業務評価書について」に従い、原子力、コミュニケーション、財政・運営の外部有識者3名や他の業務「地元地域の新聞を通じた情報提供事業(新聞広報)」の受託者等で構成する委員会を設置して、2事業の業務の実施内容や対象者の意見等について検討や検証を行い、本業務による理解促進に係る効果や今後の課題等の評価・意見を行った。

【業務評価委員会 詳細】(敬称略)

委員長：砂川武義 福井工業大学 原子力技術応用工学科 教授

委員：早川公 仁愛大学 人間学部コミュニケーション学科 講師

委員：平塚幹夫 福井銀行経営企画グループ地方創生チームリーダー

【開催実績】 1回

事後評価委員会：平成30年3月14日（水）FBC 福井放送会議室

【評価結果】 A

委託業務の実績に対する意見

（実施内容について）

- ・2018年2月に福井市を始めとする地域で発生した豪雪や直前まで続いた開催会場等の変更・調整などの外的阻害要因にもかかわらず、各市町会場とも説明会参加者目標数を大きく超えており、適切な広報計画などにより非常にうまく運営していたと評価できる。
- ・当日の模様を見学したが、建前的な説明に終始せず、しっかりと説明をしようとする姿勢が感じられる説明会で満足できるものであった。
- ・もんじゅや原子力関係に長年携わられた来馬教授に基調講演をお願いしたことで、長年の実績に裏打ちされた説得力ある講演を頂くことができ、非常によかった。

委託業務の今後のあり方についての意見

- ・全体の進行の都合で質疑応答の時間が短くなり、発言できなかった質問は後日ウェブサイトに掲載するというアナウンスがあったが、いつ頃アップされるかの説明がなく、参加者とのコミュニケーションを円滑に図る上でこのような工夫が大切であると感じた。
- ・参加者の興味のあるテーマをヒリングするためにカード形リモコンを使用されていたが、非常に良かった。この3市町のアンケートの結果、共に一番興味あるテーマが「エネルギー研究開発拠点化計画について」であったことは意外であった。このような結果も当事業事後報告に取り入れるべきである。
- ・パネリストの人選をする場合、現場事情に精通されており、事実に基づいてしっかりと説明できる方の選定が望ましい。例えば、一部事実と確認できないような意見を一方的に述べられる方に対して、しっかりと受け答えしないと、あたかもその方の意見が全て事実であると参加者に認識される恐れがある。
- ・県民に対する理解促進のためにも、このような説明会を重ねることは非常に意義がある。是非継続して実施してほしい。

5. 委託業務実施期間

平成30年2月7日から平成30年3月31日

II. 業務実施時期

業務項目	実施日程											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) アンケート調査の企画・実施											↔	
(2) 説明会の企画・実施											←→	
(3) 業務実施に関する評価												↔

添付資料

資料1 事後評価書

資料2 評価指標項目

資料3 アンケート集計結果

(事前アンケート調査、説明会当日アンケート調査)

事後評価書

1. 委託業務の題目

「地域住民の意識を踏まえた説明会の実施（広聴・広報事業）」

2. 委託業務の実施機関

福井放送株式会社

3. 委託業務の実績

3-1 委託業務の実績

以下のとおり業務を行った

3-1-1 アンケート調査の企画・実施

福井市、敦賀市において地域住民対象に合計 313 件のアンケート調査を実施し、集計・分析を行った。その結果、地域住民の関心がある、及び説明会時に取り上げて欲しい内容は、エネルギー研究開発拠点化計画についての関心が最も高く（39.0%）、その他、廃止措置計画（33.9%）高速炉の今後（28.1%）なぜ廃炉にしたのか（27.2%）放射性廃棄物の減容化（21.1%）等についてであった。

3-1-2 説明会の企画・実施

多くの説明会参加者を得るため、事前アンケート調査の結果を考慮し、開催日程・場所を設定、開催した。各会場とも受付前に「もんじゅ」の廃止措置についてのパネル展示を行い、また受付では同内容をまとめたリーフレットを配布した。説明会では文部科学省より廃止措置に係る経緯と国の取組みについて、日本原子力研究開発機構からは廃止措置への取組みについて説明を行い、その後福井工業大学工学部 原子力技術応用工学科の来馬 克美教授に「「もんじゅ」の成果とこれからの役割～福井県とのつながり～」と題し基調講演を頂いた。その後フリーアナウンサーの阿部 真由美氏を交え意見交換会を行い、カード型リモコンを活用し、参加者の興味があるトピックをヒアリングし、興味があるトピックの順に説明・討論を行い、参加者も交えた質疑応答等を行った。

3-1-3 説明会の形式

【敦賀市】平成30年2月28日（水）19:00～21:00

きらめきみなと館 小ホール

【福井市】平成30年3月4日（日）13:30～15:30

福井放送本社 FBC ホール

【美浜町】平成30年3月8日（木）19:00～21:00

美浜町保健福祉センター「はあとぴあ」ホール

3-1-4 周知（事前・事後）

下記の手法にて周知を行った

- ・ 開催チラシ・ポスターの制作及び配布・設置
- ・ 開催チラシの新聞折り込み
 - 2/26 福井新聞・各種全国紙 嶺南エリア 44,500 部
 - 2/26 日刊県民福井・中日新聞 嶺南エリア 10,300 部
 - 3/2 福井新聞 福井エリア 82,025 部
 - 3/6 福井新聞 嶺南エリア 36,150 部
 - 3/6 日刊県民福井・中日新聞 嶺南エリア 10,300 部
- ・ 新聞広告
 - 2/24 福井新聞 半五段広告
 - 2/25 日刊県民福井 半五段広告
 - 3/1 福井新聞 半五段広告
 - 3/2 日刊県民福井 半五段広告
- ・ ラジオ CM
 - [敦賀]2/21～25、F B C ラジオ、FM福井
 - [福井] 2/26～3/2、F B C ラジオ
 - [美浜]3/2～6、F B C ラジオ
- ・ テレビ CM
 - [敦賀]2/21～25、F B C テレビ、福井テレビ
 - [福井] 2/26～3/2、F B C テレビ
 - [美浜]3/2～6、F B C テレビ
- ・ ホームページ <http://www.monjyu-forum.com>
 - 2月15日（木）～3月31日（土）
 - 開催概要告知、及びオンライン参加申込システム
 - 事後に開催報告、収録動画 WEB 掲載

3-1-5 業務実施に関する評価

「地域住民の意識を踏まえた説明会の実施（広聴・広報事業）」仕様書別添の「業務評価書について」に従い、原子力、コミュニケーション、財政・運営の外部有識者3名や他の業務「地元地域の新聞を通じた情報提供事業（新聞広報）」の受託者等で構成する委員会を設置して、2事業の業務の実施内容や対象者の意見等について検討や検証を行い、本業務による理解促進に係る効果や今後の課題等の評価・意見を行う。

【業務評価委員会 詳細】（敬称略）

委員長：砂川武義 福井工業大学 原子力技術応用工学科 教授

委員：早川公 仁愛大学 人間学部コミュニケーション学科 講師
委員：平塚幹夫 福井銀行経営企画グループ地方創生チームリーダー
【開催実績】 1回
事後評価委員会：平成30年3月14日（水）FBC 福井放送会議室
【評価結果】（委員会にて評価）

3-2 経費の実績

平成30年2月～3月の経費の執行状況
（見込み）は別添のとおり（別添：資料8）

3-3 成果目標の達成状況

福井市と敦賀市の地域の住民から200件程度（目標）のアンケート調査を実施できるよう幅広い層が利用する施設等で、幅広い年齢、性別から有効な回答が得られるよう対面調査等工夫して行い、福井市と敦賀市において計313件のアンケートを回収し、目標を達成した。

説明会については参加者総数が200名程度（目標）となるよう周知を行い、双方向型の説明会となるように工夫し実施した結果、説明会の参加数334名となり、目標を達成した。

3-4 評価指標の達成状況

3-4-1 原子力や「もんじゅ」等の基礎的な知識の理解促進

説明会やパネル展示の実施、およびリーフレットを配布したことによる、原子力や「もんじゅ」等の基礎的な知識の理解促進の度合い

【項目と基準値】

説明会での当日アンケート結果における参加者の原子力や「もんじゅ」の基礎的な知識の理解促進の度合い

アンケート結果 肯定的回答の割合 各60%以上

対応：資料6-2 説明会当日アンケート、資料9 評価指標項目

- ・設問5 「本日の「もんじゅ」の説明について、どのように感じられましたか？」

【結果】 肯定的回答の割合 86.6%

- ・設問9 「本日、フォーラムに参加され、「もんじゅ」・原子力について理解が深まったと思いませんか？」

【結果】 肯定的回答の割合 81.2%

3-4-2 原子力や「もんじゅ」等に関する知識の理解促進の実施・手法

説明会やパネル展示の実施、およびリーフレットを配布したことによる、原子力や「もんじゅ」等に関する知識の理解促進の実施・手法の度合い

【項目と基準値】

説明会での当日アンケート結果における原子力や「もんじゅ」の知識の理解促進の実施・手法の度合い

アンケート結果 肯定的回答の割合 各60%以上

対応：資料 6-2 説明会当日アンケート、資料 9 評価指標項目

- ・設問 8 「本日の意見交換会は適切に行われていたと思いますか？」

【結果】 肯定的回答の割合 83.9%

- ・設問 10 「本日のフォーラムは、「もんじゅ」・原子力についての理解が深まるのに役立つと思いますか？」

【結果】 肯定的回答の割合 84.6%

3-4-3 原子力や「もんじゅ」等に関する知識の理解促進実施の持続

説明会への参加者による、参加意欲の度合い

【項目と基準値】

説明会での当日アンケート結果における参加者の説明会への参加意欲の度合い

アンケート結果 肯定的回答の割合 各60%以上

対応：資料 6-2 説明会当日アンケート、資料 9 評価指標項目

- ・設問 11 「今後「もんじゅ」・原子力についてどのような情報を知りたいですか？」

【結果】 自由記述より 資料 7-2

・「廃炉措置の現状・経緯・展望・費用について」、「もんじゅで培った技術と活用事例について」、「ナトリウム・使用済み燃料の取り出し方法、最終処分方法、処分地、スケジュールについて」、「新しい研究炉について」、「廃止措置の安全対策について」、「エネルギー基本計画の現状、展望について」、「核燃料サイクル政策の今後について」、「エネルギー研究開発拠点化計画について」、「地元雇用確保について」、「原子力関連人材育成・関連企業就職について」、「廃止措置に係る地元企業の参入機会について」知りたいという方が多く見受けられ、参加意欲が高いことが伺える内容となった。

- ・設問 12 「今後もこのようなフォーラムに参加してみたいと思いますか？」

【結果】 肯定的回答の割合 84.6%

3-4-4 原子力や「もんじゅ」等に関するより高度な知識への興味・関心の波及

説明会での当日アンケート結果における原子力や「もんじゅ」の利用や影響、管理などへのより高度な知識への興味・関心の波及の度合い

アンケート結果 肯定的回答の割合 各60%以上

対応：資料 6-2 説明会当日アンケート、資料 9 評価指標項目

- ・設問6「本日の基調講演の内容について、どのように感じられましたか？」

【結果】肯定的回答の割合 82.2%

- ・設問7「基調講演後の意見交換会の内容について、どのように感じられましたか？」

【結果】肯定的回答の割合 80.5%

- ・設問12「今後もこのようなフォーラムに参加してみたいと思いますか？」

【結果】肯定的回答の割合 84.6%

3-5 効果の発現状況

3-5-1 原子力や「もんじゅ」等の基礎的な知識の理解促進

説明会の開催において原子力や「もんじゅ」等に関する理解促進の効果の発現が見られた。

3-5-2 原子力や「もんじゅ」等に関する知識の理解促進の実施・手法

多くの地域の住民へ広く行う手法の説明会を行い、色々な視点から地域の住民へ情報発信ができ知識の理解促進の効果の発現が見られた。

3-5-3 原子力や「もんじゅ」等に関する知識の理解促進実施の持続

説明会を開催し、地域の住民に「もんじゅ」や原子力等の知識の普及、「もんじゅ」の意義について考えるきっかけとなり、さらに継続して参加してもらう意欲の一助となり効果の発現が見られた。

3-5-4 原子力や「もんじゅ」等に関するより高度な知識への興味・関心の波及

説明会の開催により、地域住民の「もんじゅ」や原子力などへの理解とより広域・発展的な内容への興味・関心が更に広がり波及効果の発現がみられた。

4. 各視点の評価の結果（※業務評価 評価シート 別紙様式2）

- 4-1 妥当性：（原子力や「もんじゅ」等の理解促進策としての整合性やニーズに対する必要性、問題への解決策としての適切性などについて評価）

【評価：a】

事前アンケート調査により、「もんじゅ」が立地している地域住民の知りたい情報を把握しニーズに応じた説明会での意見交換会のテーマ設定を行った。また、内容、地域・開催に併せて周知展開を行った上で説明会を実施したとともに、地域住民が知りたい情報として、「もんじゅ」の廃止措置についてのパネル展示やリーフレットを配布し、情報提供することで地域住民の理解が促進された。

4-2 有効性：(成果目標の達成度について評価)【評価：a】

事前アンケート調査200件以上の目標に対して、福井市と敦賀市において計313件と成果目標の100%以上を達成した。幅広い層が利用する施設等で対面調査を行った結果であると評価できる。

説明会において、参加総数200名の目標に対し、334名(敦賀市：112名、福井市：119名、美浜町103名)と成果目標の100%以上を達成した。地域住民の方々が原子力や「もんじゅ」に対して関心が高いことが伺える結果であると評価できる。

4-3 効率性：(成果目標の達成に対する手法として、実施内容と成果の関係における経済性・適正性について評価)【評価：a】

本事業実施のための訪問先をできるだけ纏めて効率よく打ち合わせできるように努め、経費を抑える工夫を行い、効率性を高めることが可能となった。

実施内容と成果について適切に実施しており、参加者が目標以上であり、またその効果も目標以上を達成している。その他予算執行率として特に問題ないと考え、ある程度参加者の満足度も得られたことから効率性は高いとの評価。

4-4 印象性・持続性：(地域住民等に対するアンケート調査結果の動向、原子力

「もんじゅ」についての知識の理解促進及びより高度な知識への興味・関心の波及など、発現した効果について評価)【評価：a】

当日アンケート調査結果より、基調講演の内容について「大変興味深かった」「興味深かった」と回答した人が82.2%、その後の意見交換会では同回答が80.5%おり、また今後も同様のフォーラムに参加したいと思うかという設問に対し、「参加したい」「都合があれば参加したい」と回答した人が84.6%と多く、説明会の実施において原子力や「もんじゅ」に関する情報提供をすることでより理解が深まり、次回への参加意欲を高められた。

5. 委託業務の実施における外的要因

5-1 効果の発現を促進した要因

(1) 計画の内容に関すること

- ・事前アンケート調査結果に基づき、説明会でのテーマ設定、専門家による講義、原子力機構による説明、意見交換会のテーマ設定や説明会自体の開催日時・会場設定について企画し、地域のニーズにあった内容で実施することにより、当日アンケート調査の結果では、興味・関心がある人はより理解が深まり、関心がなかった人には興味・関心をもってもらうきっかけとなり本業務の発現が促進さ

れたと考えられる。また、当説明会周知にあたっては、適切な広報計画に基づき実施し、目標以上の参加者を得ることができた。

(2) 実施の内容に関すること

- ・事前アンケート調査にあたり、福井市、敦賀市内の幅広い層が利用する施設などの街頭で対面調査をしたことが、事前アンケート目標回収数を大幅に超えた促進要因となったと考えられる。
- ・説明会において、「もんじゅ」の廃止措置が取られる中、住民の関心が高い地元において、リアルタイムな「もんじゅ」の廃止措置についての状況を説明することができ、理解促進となったと考えられる。また、アンケート結果からも「今後も参加したい」「都合があれば参加したい」（84.6%）という参加意欲が高められ本事業の効果の発現が促進されたと考えられる。
- ・説明会での意見交換会では、参加者にカード形リモコンを配布し、どのテーマについて興味があるかヒアリングを行った上で、関心が高いテーマを元に討論を進めることで、参加者の理解促進と満足度も得られたと考えられる。
- ・会場において「もんじゅ」の廃止措置に係るパネル展示を行い、また同様内容のリーフレットを配布し、「もんじゅ」の廃止措置に係る情報提供を積極的に行い、理解促進につながったと考えられる。

5-2 効果の発現を阻害した要因

(1) 計画の内容に関すること

- ・受託から実施までが短期間であったため、関係各所との調整、参加者への十分な周知が一部不十分であったと考えられるが、効率的な関係各所との調整・各種メディアを用いた効果的な広報計画によって、参加者獲得目標を大きく超える結果を残すことができた。
- ・地元自治体からの要望で、開催日程の調整が難航し、十分な準備を整えることができなかったが、効率的な準備運営で上記結果を残すことができた。

(2) 実施の内容に関すること

- ・短期間での計画であったため、講演テーマや開催時期の調整が困難となった。しかし、講演内容をギリギリまで調整するなど、臨機応変に対応し、特に福井工業大学工学部 原子力技術応用工学科の来馬 克美教授に基調講演・パネリストとして参加して頂き、福井県職員として原子力・「もんじゅ」等に関わってきた見地・想いを述べて頂き、参加者からも概ね満足な感想を得るなど、地域の住民への情報提供ができたと考えられる。

【添付資料】

- ・業務計画書（資料 1）
- ・業務実施スケジュール（資料 2）
- ・説明会開催報告（資料 3）
- ・開催チラシ 3 部〈敦賀・福井・美浜〉（資料 4）
- ・もんじゅリーフレット（資料 5）
- ・アンケート一式（事前〈資料 6-1〉 説明会〈資料 6-2〉）
- ・アンケート集計結果（事前〈資料 7-1〉 説明会〈資料 7-2〉）
- ・経費の執行状況（資料 8）
- ・評価指標項目（資料 9）

評価の指標 平成 29 年度 「地元地域の意識を踏まえた説明会の実施（広聴・広報事業）」

評価書対応	評価の指標	アンケート設問	回答
3-4-1	基礎的な知識の理解促進	本日のもんじゅ説明会について、どのように感じられましたか？	① よく理解できた ② 少し理解できた ③ あまり理解できなかった ④ まったく理解できなかった ⑤ その他（記述）
		本日、フォーラムに参加され、「もんじゅ」・原子力について理解が深まったと思いますか？	① 理解が深まった ② ある程度理解が深まった ③ あまり理解が深まらなかった ④ 理解が深まらなかった ⑤ その他（記述）
3-4-2	知識の理解促進の実施・手法	本日の意見交換会は適切に行われていたと思いますか？	① はい ② いいえ
		本日のフォーラムは、「もんじゅ」・原子力についての理解が深まるのに役立つと思いますか？	① 非常に役立つ ② ある程度役立つ ③ あまり役立たない ④ 役に立たない ⑤ その他（記述）
3-4-3	知識の理解促進の実施の持続	今後「もんじゅ」・原子力についてどのような情報を知りたいですか？	自由記述
		今後もこのようなフォーラムに参加してみたいと思いますか？	① 参加したい ② 都合があれば参加したい ③ 参加したくない ④ わからない

3-4-4	高度な知識への 興味・関心の波及	本日の基調講演の内容について、どのように感じられましたか？	① 深まった ② ある程度深まった ③ どちらともいえない ④ あまり深まらなかった ⑤ 深まらなかった
		基調講演後の意見交換会の内容について、どのように感じられましたか？	① 大変興味深かった ② 興味深かった ③ あまり興味を引かなかった ④ まったく興味を引かなかった ⑤ その他（記述）
		今後もこのようなフォーラムに参加してみたいと思いますか？	① 参加したい ② 都合があれば参加したい ③ 参加したくない ④ わからない

平成29年度

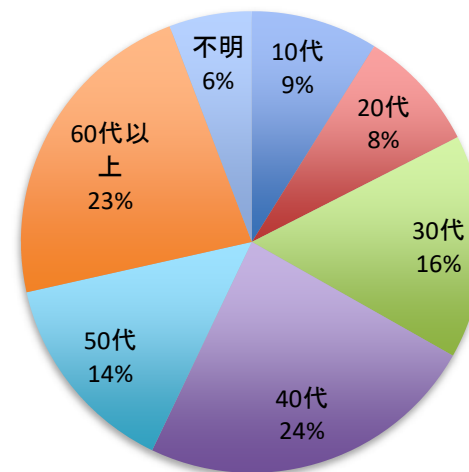
「地域住民の意識を踏まえた説明会の実施(広聴・広報事業)」

アンケート調査結果報告書

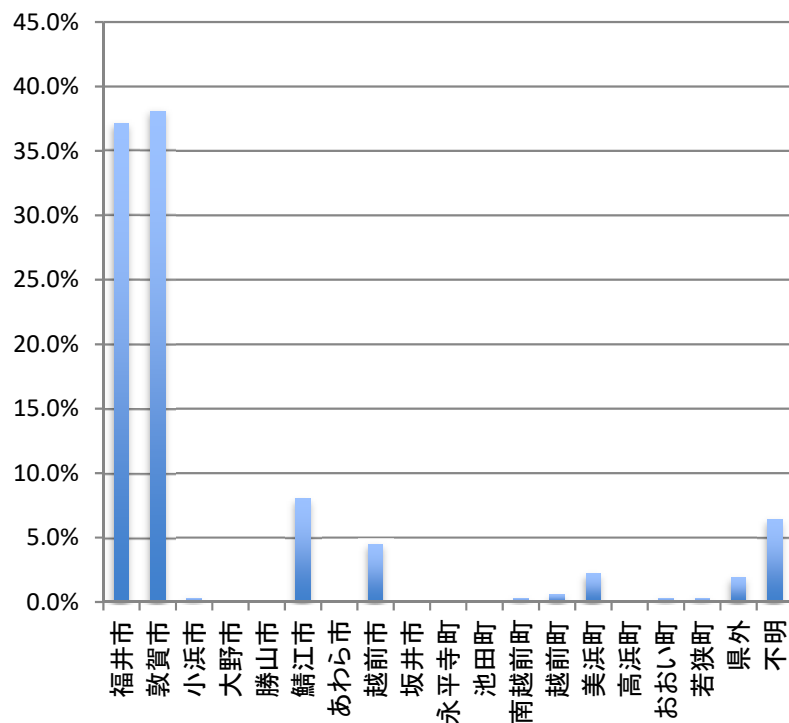
アンケート実施概要

- **実施日時:** 平成30年2月10日(土)11日(日)
- **実施場所:** 福井地区: ショッピングシティ・ベル
敦賀地区: アル・プラザ敦賀
- **回収数:** 全体:313件
内訳)▼男女: **男性109件、女性198件、不明6件**
▼エリア: **嶺北158件、嶺南129件、その他26**

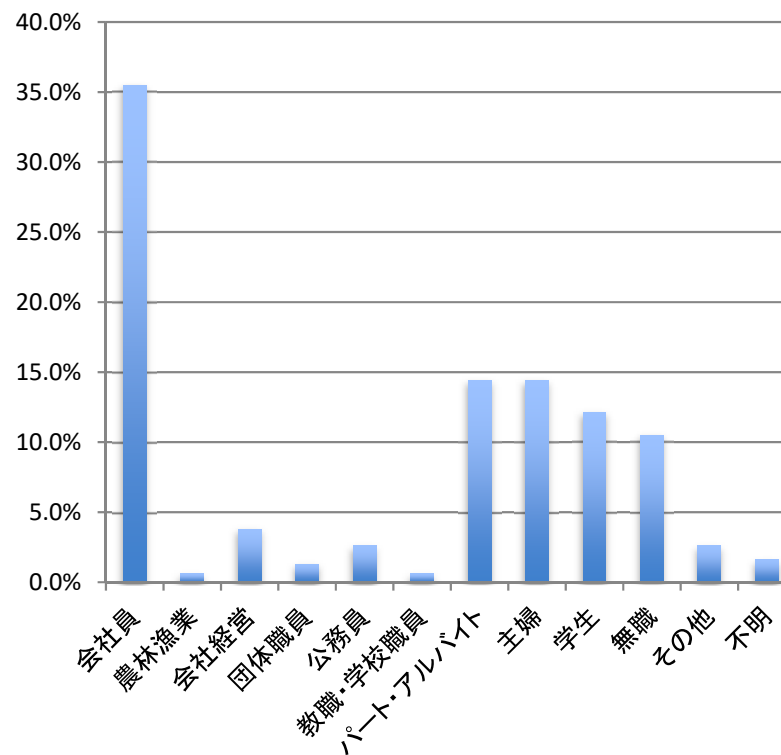
■ 年代別



■ 市町村別

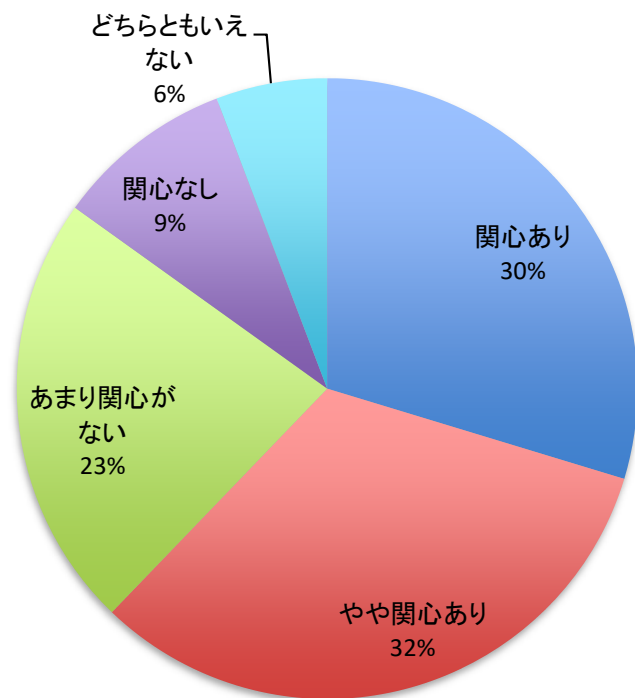


■ 職業別



アンケート調査結果

■質問1: 「もんじゅ」や原子力に関心がありますか？



考察

【全体】

「もんじゅ」および原子力への関心は高い。

【地域別】

サンプル数の多い福井市では関心度(関心がある+やや関心がある)は54.3%、敦賀市では関心度は75.6%と、立地自治体である敦賀市が比較的高い。

【男女別】

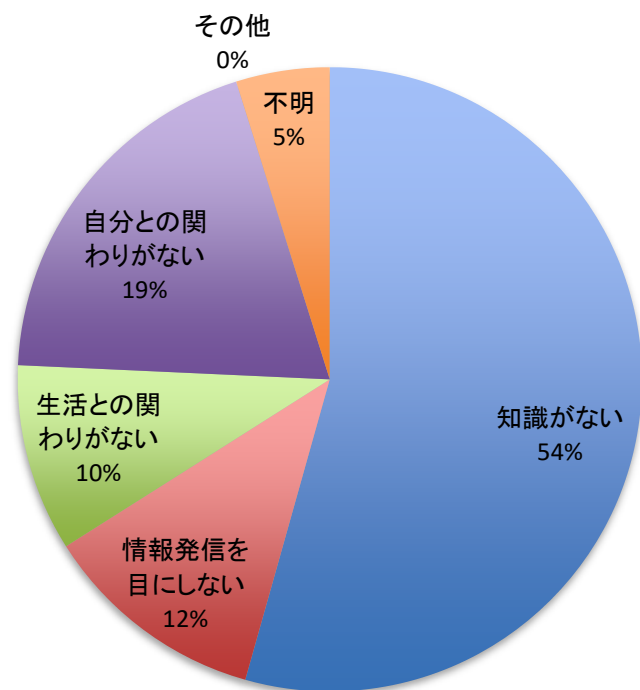
男性の関心度は73.4%で女性の関心度の56.5%を上回る。

【年代別】

年齢が高くなるにつれて、関心度が高くなる傾向がある。

アンケート調査結果

■質問2：（設問1で③④「(あまり)関心がない」とお答えの方へ） その理由をお選びください。



考察

【全体】

「もんじゅ」への関心の低さの背景には、「もんじゅ」の知識の低さがある。

【地域別】

どの市町でも、「もんじゅ」への関心の低さは、「もんじゅ」の知識の低さに起因している。

【男女別】

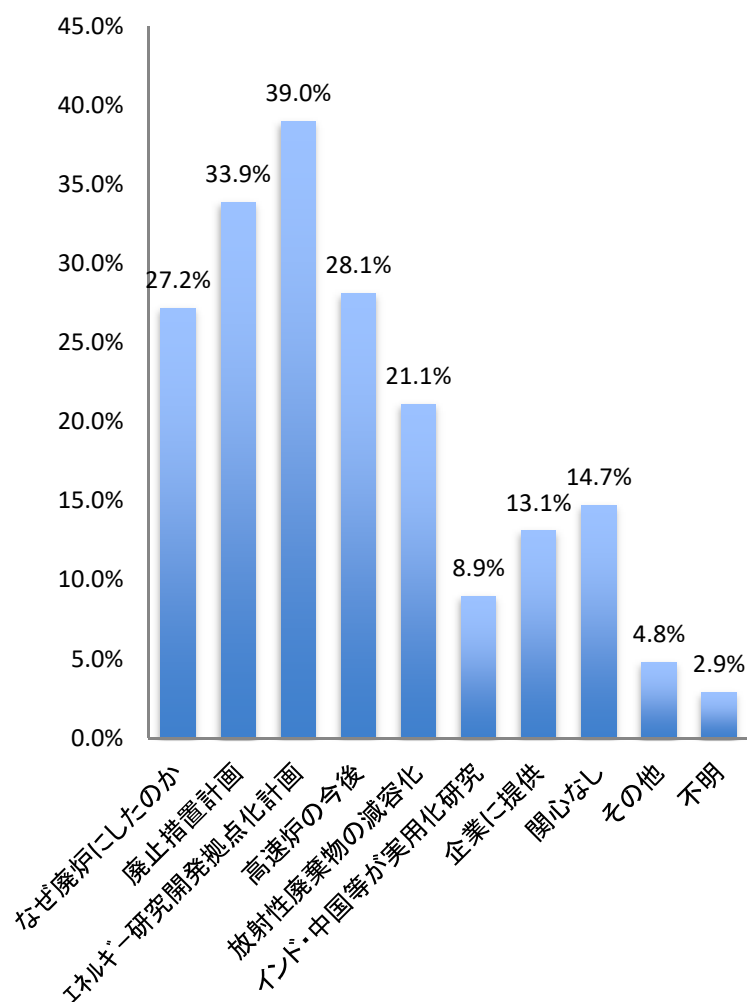
男性は知識がない(37.5%)他に、自分との関わりがない(29.2%)、生活との関わりがない(20.8%)等の要因も比較的多い。女性の多くは知識がない(65.7%)ことが主要因である。

【年代別】

全年齢層を通じて、知識がないことが主要因として挙げられる。60第以上については知識がない(33.3%)、情報発信を目にしない(33.3%)が同率で主要因に挙げられる。

アンケート調査結果

■質問3: 「もんじゅ」や高速炉の研究開発について、どのようなことに関心がありますか？(〇はいくつでも)



【その他の内容】

よく分かっていません/研究開発費の国税負担又は廃炉費用の負担は？/大阪の電気をつくっているはずなのに、大阪方面の人達が協力的でない/どうやって原子力発電をするのか？/そもそも「もんじゅ」が何か分からない(調べた事がない)/原発補償金をよこせ。県・市に税は入るが、住民は大迷惑/無駄なもんじゅをなぜ存在させているのか理解不能/続ける、続けないをはっきり決める事/敦賀の職についてはう～んと思うところがあるが、古いもんじゅを造った時点で問題があった

考察

【全体】

エネルギー研究開発拠点化計画についての関心が最も高い(39.0%)。その他、廃止措置計画(33.9%)高速炉の今後(28.1%)なぜ廃炉にしたのか(27.2%)放射性廃棄物の減容化(21.1%)等についての関心も高い。

【地域別】

サンプル数が多い福井市では、エネルギー研究開発拠点化計画についての関心が最も高く(41.4%)、敦賀市では廃止措置計画についての関心が最も高い(42.7%)。

【男女別】

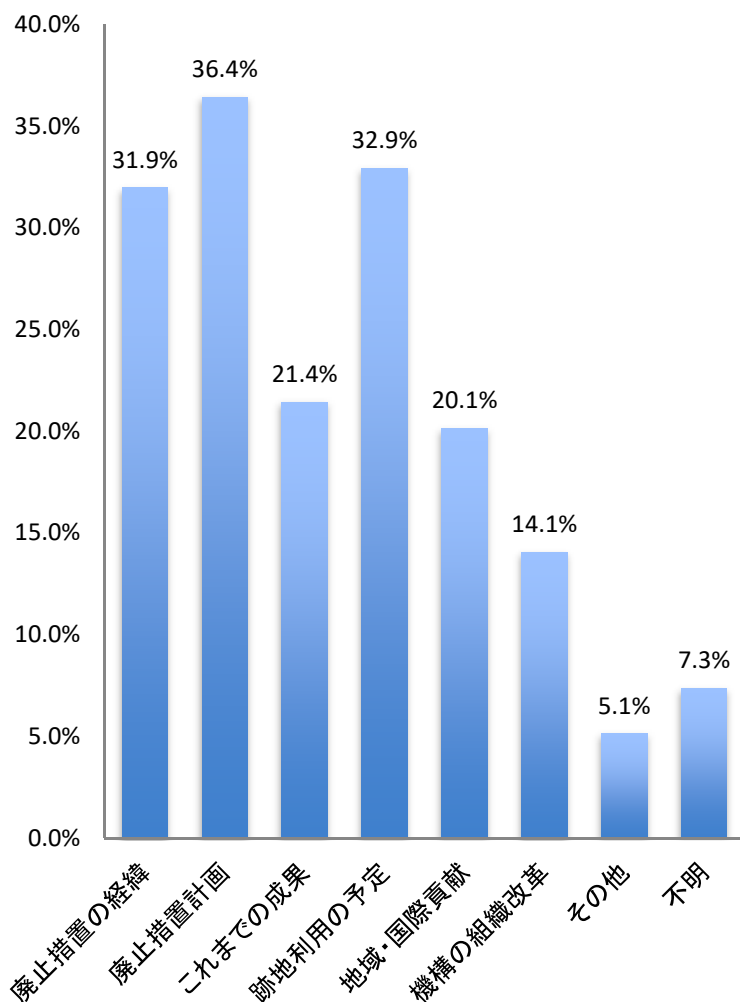
男女ともにエネルギー研究開発拠点化計画についての関心が最も高い。

【年代別】

10代は関心なしが最も多く、20代はなぜ廃炉にしたのかと廃止措置計画についてが最も多い。30代・40代・50代はエネルギー研究開発拠点化計画について(50代は同率で高速炉の今後についても高い)、60代以上は廃止措置計画についての関心が最も高い。

アンケート調査結果

■質問4: 「もんじゅ」について知りたいことは何ですか？(〇はいくつでも)



【その他の内容】

原子(ウラン)をどうやって使っているのか?/ゴミを地中に埋めるという考え方が怖い。今だけ良ければ良いの?/地産地消にせよ日本の周りを原子力とアメリカ基地だらけにしてどうするつもりか?/経済の通り道としての敦賀の発展に地域としてどう原発が関わって行けばいいのか?/できるか、できないかではなく、やるか、やらないかを定める事

考察

【全体】

廃止措置(廃炉)の計画についての関心が最も高い(36.4%)。次いで、跡地利用の予定(32.9%)廃止措置の経緯(31.9%)についての関心が比較的高い。

【地域別】

サンプル数が多い福井市では、跡地利用の予定についての関心が最も高く(39.6%)、敦賀市では廃止措置の計画についての関心が最も高い(42.9%)。

【男女別】

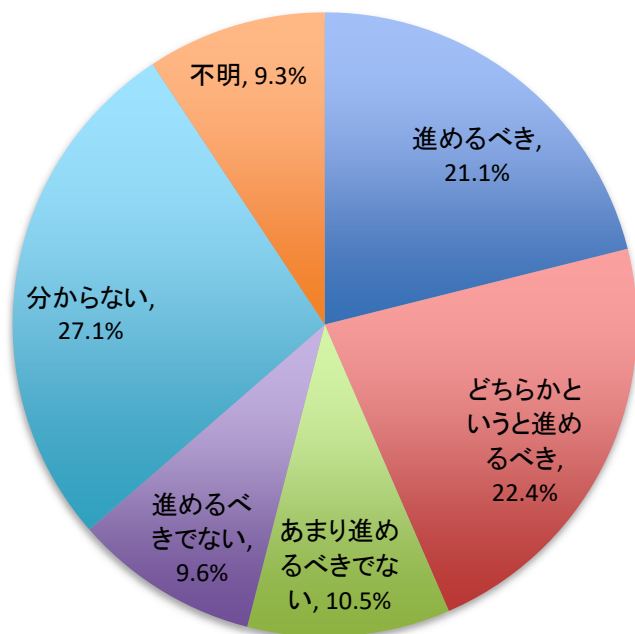
男性では、跡地利用の予定についての関心が最も高く(42.2%)、女性では廃止措置の計画についての関心が最も高い(37.9%)。

【年代別】

10代・20代は廃止措置の経緯についての関心が最も高く、30代・40代・50代は廃止措置の計画についての関心が最も高く、60代以上は跡地利用の予定(43.9%)についての関心が最も高い。

アンケート調査結果

■質問5： 高速炉や核燃料サイクルの研究開発など進めていくべき と思いますか？



考察

【全体】

最も多かった回答は分からない(27.1%)。次いで、どちらかというに進めるべき(22.4%)進めるべき(21.1%)と推進に前向きな回答が続く。

【地域別】

サンプル数が多い福井市では、分からない(33.0%)が最も多く、次いで、推進に前向きな回答(どちらかというに進めるべき(28.2%)進めるべき(25.2%))が多い。同じくサンプル数が多い敦賀市では推進に前向きな回答(どちらかというに進めるべき(25.0%)進めるべき(25.0%))が最も多い。

【男女別】

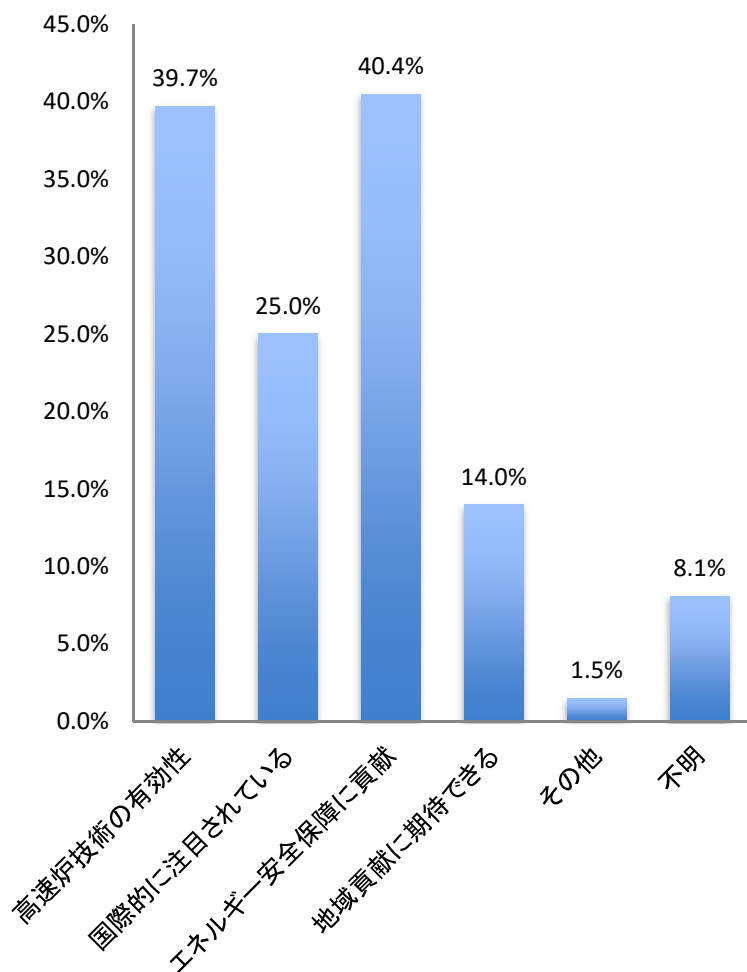
男性では、推進に前向きな回答(どちらかというに進めるべき(31.5%)進めるべき(26.3%))が多く、女性では分からないという回答が最も高い(33.2%)。

【年代別】

10-40代は多数が分からないと回答したが、年代が上がるにつれて推進に前向きな回答(どちらかというに進めるべき・進めるべき)が多くなっていく。50代・60代以上は推進に前向きな回答が最も多くなっている。

アンケート調査結果

■質問6：（設問5で①②「(どちらかというと)進めるべき」とお答えの方へ)その理由をお選びください。



【その他の内容】

危険だから開発・研究まで止めているようでは進歩はないから/廃棄する、しないどちらにしても、今あるものをどうにかしないといけないと思うから

考察

【全体】

最も多かった回答はエネルギー安全保障に貢献する技術だから(40.4%)。次いで、先送りできない課題であり、高速炉技術は有効だから(39.7%)が続く。

【地域別】

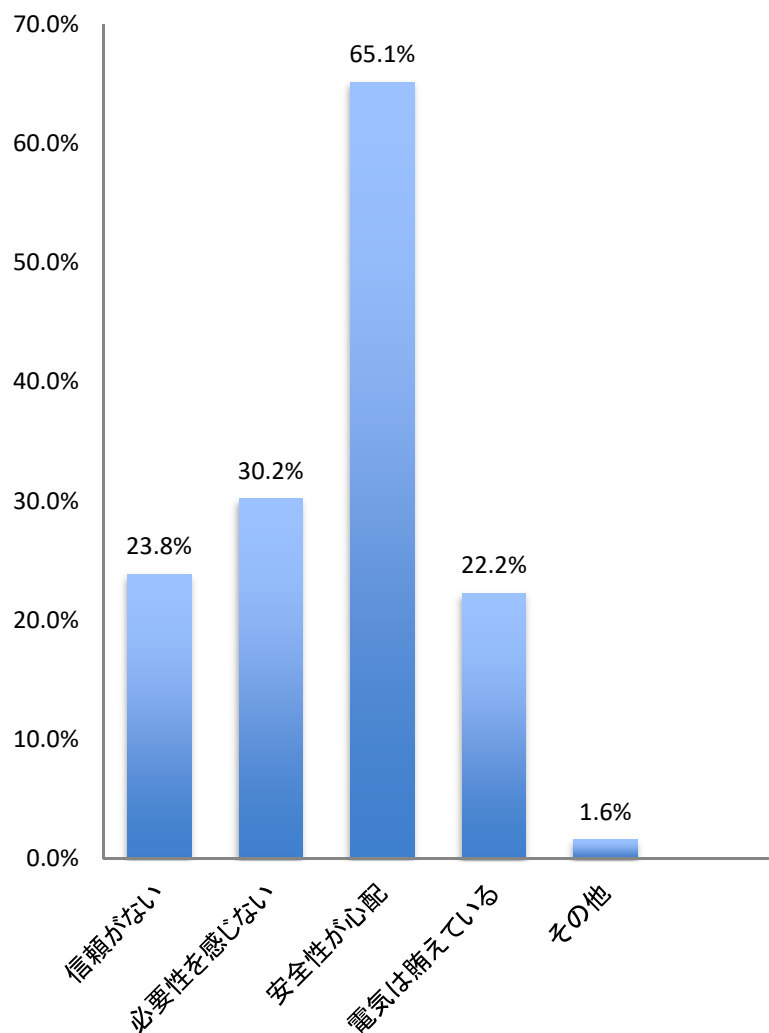
サンプル数が多い福井市では、エネルギー安全保障に貢献する技術だから(50.9%)が最も多く、次いで、先送りできない課題であり、高速炉技術は有効だから(49.1%)が多い。同じくサンプル数が多い敦賀市でも同回答が同率(それぞれ38.3%)で最も多く、次いで国際的にも注目されているから(36.2%)が多い。

【男女別】

男性では、エネルギー安全保障に貢献する技術だから(53.8%)が最も多く、女性では先送りできない課題であり、高速炉技術は有効だから(42.3%)が最も多い。

アンケート調査結果

■質問7：（設問5で③④「(あまり)進めるべきでない」とお答えの方へ)その理由をお選びください。



【その他の内容】

費用も無駄

考察

【全体】

最も多かった回答は自然災害が起きた場合に安全性が心配だから(65.1%)。他回答の2倍以上の差をつけ突出してこの回答が多い。

【地域別】

サンプル数が多い福井市でも上記回答が最も多く(57.1%)、次いで、同じくサンプル数が多い敦賀市でも上記回答が最も多い(72.2%)。

【男女別】

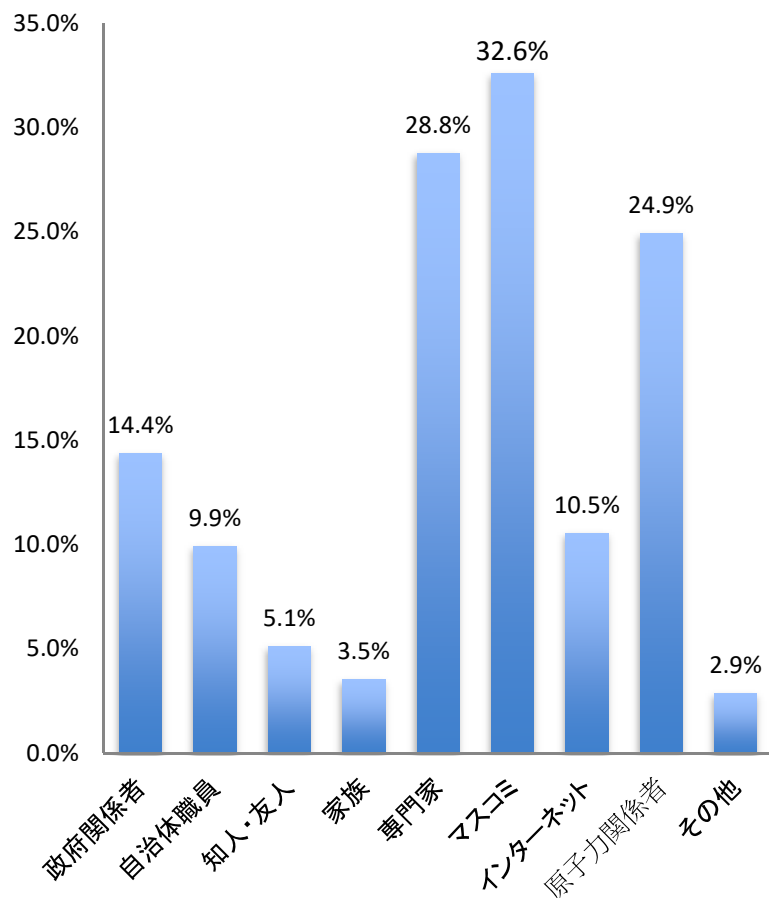
男女ともに、上記回答が最も多い(男性66.7%、女性63.6%)

【年代別】

40代以外は上記回答が最も多い。40代については必要性を感じない(43.8%)が最も多い。

アンケート調査結果

■質問8: 「もんじゅ」を含めた原子力全般について、どこからの情報が信頼できますか?(〇はいくつでも)



【その他の内容】

全部の意見を総合的に判断。難しいが…/どれも信頼できない/聞いた事がない/本、新聞で取り上げられていた福島で働いた人の言葉/⑤⑥でも公正に発言する人は少ない。外国を見習って公正に中立的な人が評価すべきである

考察

【全体】

最も多かった回答はマスコミ(32.6%)、次に専門家(28.8%)、原子力関係者(24.9%)が顕著に多い。

【地域別】

サンプル数が多い福井市では専門家(38.8%)との回答がもっとも多く、次いでマスコミ(34.7%)との回答が続く。同じくサンプル数が多い敦賀市ではマスコミ(44.8%)との回答が最も多く、次いで専門家(30.5%)との回答が続く。

【男女別】

男性では専門家(37.2%)との回答が最も多く、女性ではマスコミ(40.2%)との回答が最も多い。

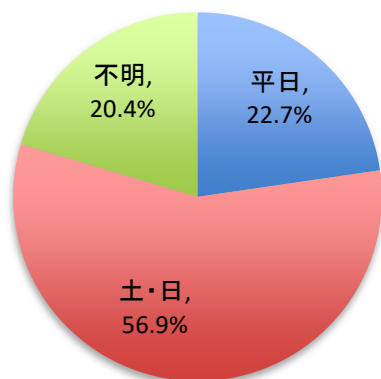
【年代別】

10代で最も多い回答は政府関係者(29.6%)で、それ以外の年代は専門家、マスコミとの回答が多い。

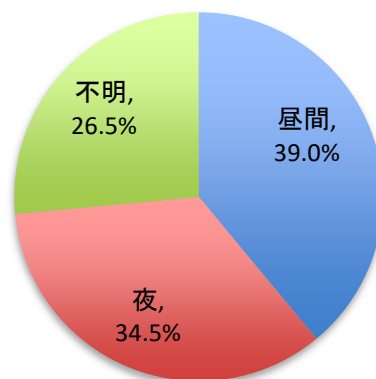
アンケート調査結果

■質問9： 説明会や意見交換会を行う際どのような日時、場所だと参加しやすいですか？

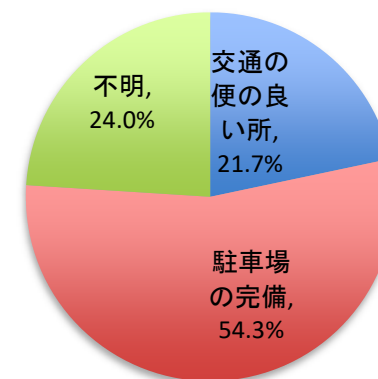
■日程について



■時間について



■場所について



考察

【地域別】サンプル数が多い福井市では平日(18.0%)土・日(82.0%)と圧倒的に土日開催の希望が多い。同じくサンプル数が多い敦賀市では平日(42.9%)土・日(57.1%)と福井市と比較すると差は少ないが土・日との回答が多い。

【男女別】男女ともに土・日との希望が多い(男性70.8%、女性72.4%)

【年代別】年代が高くなるに連れて平日と土・日の割合が均衡してくるが、全体的に土・日の希望が多い。

考察

【地域別】サンプル数が多い福井市では昼間(57.5%)の希望が多い。同じくサンプル数が多い敦賀市でも昼間(56.0%)の希望が多い。

【男女別】男女ともほぼ均衡しているが、男性はやや夜間(51.8%)の希望が多く、女性はやや昼間(56.6%)の希望が多い。

【年代別】昼間を最も多く希望する60代以上(77.8%)と30代(51.4%)以外の年代は夜間の希望が多い。

考察

地域別、男女別、年代別いずれも駐車場の完備されている会場を希望している

アンケート調査結果

■質問10: 高速増殖原型炉「もんじゅ」に対するご意見等があればお書きください

【意見】

- ・有効に利用して欲しい
- ・安全(周囲)に廃炉を進めて下さい
- ・もっと教育していくべき
- ・今後廃炉にもすごく時間がかかると思いますが、安全に廃炉にする事は可能なのか?
- ・情報が今一はっきりしない。明確に分かり易く情報を…。反対派の意見ばかりマスコミは放送している。賛成、擁護派の意見は?何が何でも危険ですぐに福島、福島と騒ぐ無知ぶりにうんざり。どちらにするにせよ、スピーディーに進めて欲しい
- ・現行の「もんじゅ」は旧型なので廃炉はいたしかたないが、廃棄物の減容化に対する研究は必要だと思われる
- ・今迄に使った税金の無駄をなくして欲しい。それを活かして欲しい
- ・計画がずさんである。機構の改革が必要。先進国に学ぶべき
- ・期待しています
- ・「もんじゅ」を設置する事になった最初の利用を考えたのはなぜか?それはいったい誰が考えたのか?
- ・子供にもっと教育していくべき
- ・もんじゅのことはあまり知らないが、問題があつて廃止したのだからしっかり確認して他の場所の原子力発電所でも事故の無いようにして欲しい
- ・もっと県民に分かり易く説明する必要があると思います。本当に必要か、不要か今一歩分からない
- ・地元的不安(安全、仕事等)
- ・職が足りません
- ・地域住民の生活安定。設置してある以上どうする事も出来ない。造った以上、責任をとるべきである。住民の生活安定、雇用面
- ・エネルギー問題は今後の日本の発展、経済活動に重要なので、どう安全に推進するか十分に議論すべき
- ・確実な事をしっかり行い、問題等が出た場合しっかり報告する必要性が有り、しっかり運転可能実現に向かって頑張ってください
- ・トラブルが多かったので信用性に乏しい
- ・よく分からない。興味もない
- ・責任をとるとはどういうことか?何かあつた時に元に戻せるのか?
- ・廃炉になった事は非常に残念です。また地域企業への多大な貢献を原子力機構がされているのを知っています。今後は「ふげん」と共に廃止措置技術の確立へ向け邁進して下さい。応援しています
- ・解体するのが必然。世の中の流れに全く合わない
- ・何とか今後の開発にデータを活かして欲しいです
- ・越前和紙や刃物の企業とのコラボなどいろいろな取り組みを知っています。廃炉になったことは残念ですが、これからも廃止措置へ向け頑張ってください
- ・なるべく早く廃炉にして欲しい
- ・機構の撤退
- ・嘘、でたらめばかりの印象
- ・あれだけいじられると組織が保たない事例だと思う

平成29年度

「地域住民の意識を踏まえた説明会の実施(広聴・広報事業)」

当日アンケート調査結果報告書

アンケート実施概要

■実施日時・会場:

【敦賀市】平成30年2月28日(水)19:00~21:00

きらめきみなと館 小ホール

【福井市】平成30年3月4日(日)13:30~15:30

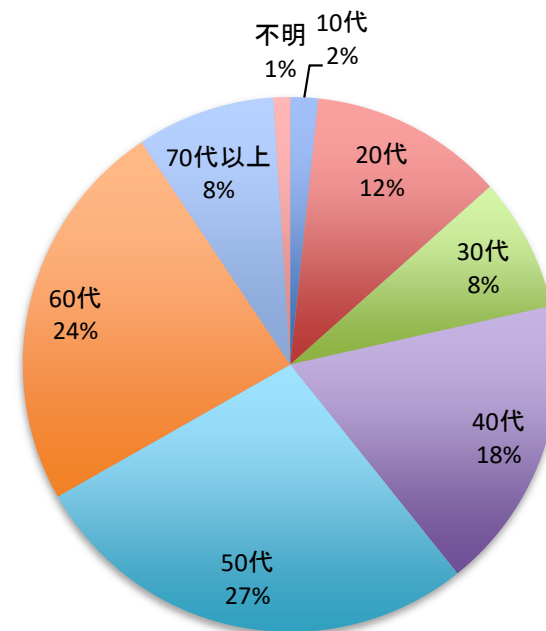
福井放送本社 FBCホール

【美浜町】平成30年3月8日(木)19:00~21:00

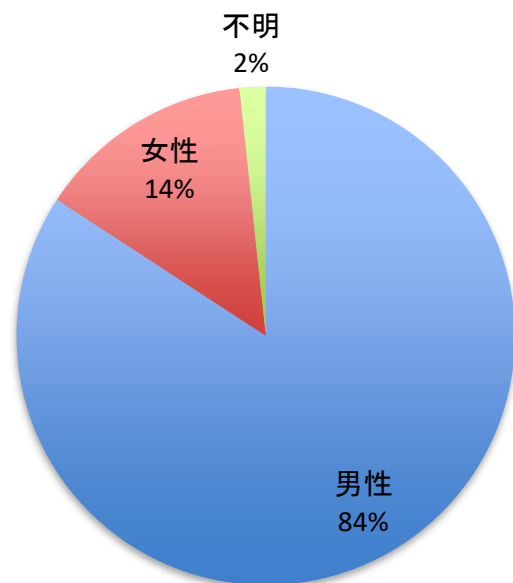
美浜町保健福祉センター「はあとびあ」ホール

■回収数:298件

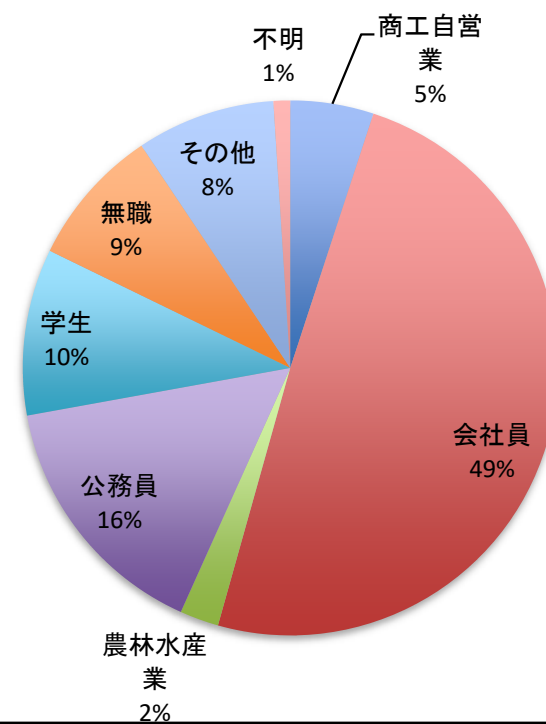
■年代別



■性別

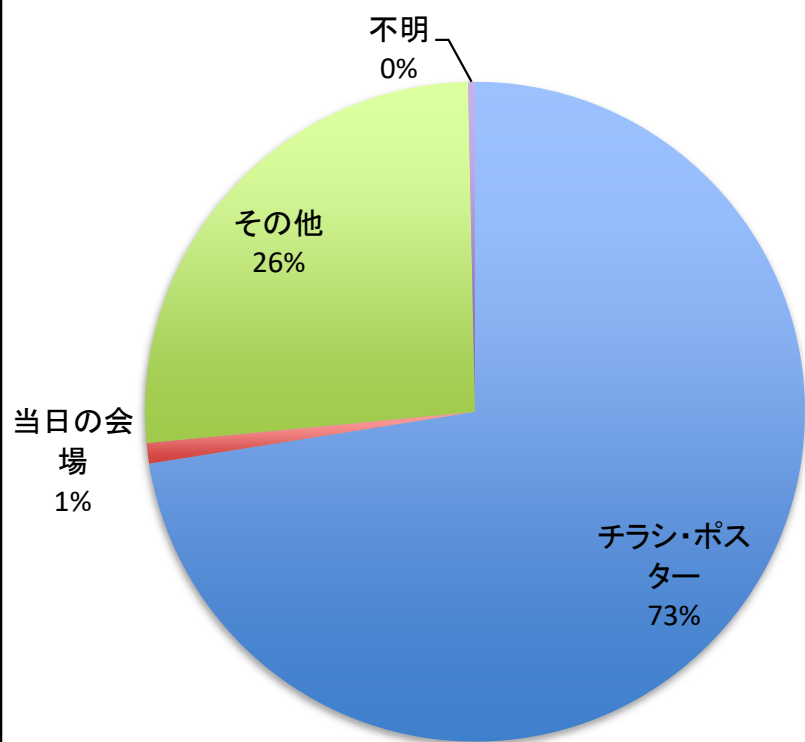


■職業別



アンケート調査結果

■質問4: この原子力フォーラムをお知りになったきっかけはな んですか？

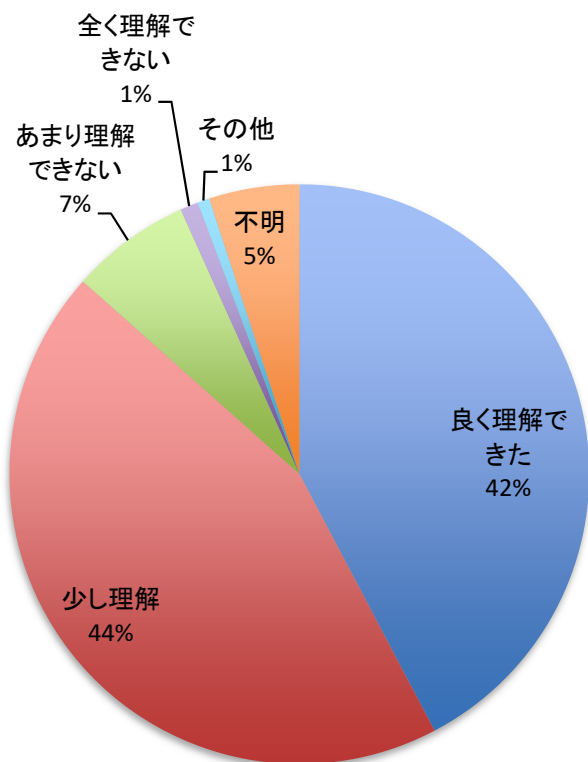


【その他の内容】

テレビCM 26件
友人・知人から 7件
職場での案内 5件
学校・大学より 4件
ライン 3件
ラジオCM 2件
新聞 2件
大学の教授 来馬先生
テレビ・ラジオのCM
FBC様からのご案内
福井新聞を見て
FBC
関係団体から
新聞・ラジオ・テレビ
原子力安全環境監視委員の為
コマーシャル
、会社への案内
役場からの案内
案内状
商工会からの依頼
主催者からの案内
社内回覧
原発協会員
企画政策課長

アンケート調査結果

■質問5:本日の「もんじゅ」の説明について、どのように感じられましたか？



肯定的回答 86.6%

【その他の内容】既に知っている内容

【回答の理由】

■よく理解できたと回答した方

伊藤理事のお話は素人でもわかるような説明であった／安全廃止措置が進められる事が感じ取れた／もんじゅ廃止措置の連絡協議会の体制等の説明／理事の話が簡素で分かり易い／元々勉強する過程において良く知っていたが、更に理解が深められた／原子力機構、政府、第三者の助言と評価をもって進められると理解した／政府側また原子力機構側からのお話を聞く事ができたから／①初臨界から廃止措置に至るまでのこと ②廃止措置には様々なチームや係りが安全第一で取り組んでいる事が改めて理解することができた／ふげんで9年先送りということは、もんじゅでも核燃料の搬出の予定が？ということでしょうね。その部分の説明が欲しかった／段階的に解体していく工程を知る事が出来、大変安心した／よく理解できたが、資料の字が小さかった／もんじゅのあり方が分かり易かった／あまりもんじゅの仕組みや廃炉の中味について知らなかったので／人材 熱意が伝わった

■少し理解できたと回答した方

40%出力までで●ウントの成立性が立証できるのか。廃炉にする意味が理解できない／説明時間が短く急ぎ足のように思いました／廃止になる経緯は理解できた。規制委員会が勧告を出さなかったらどうなっていたかも聞ければと思った／専門の言葉が難しいところがあった／責任についての議論がない。過去についても将来についても無責任の分野／もんじゅ廃止措置の責任者は誰か(原子力機構は元請けのような感じ)。政府、国ならば文科省か？機構以外に事業者はいないのか？機構に任せられない、不安だ／もんじゅについて無知であったため、詳しい話は理解できなかったが、廃止の流れや計画を理解できた／専門的な用語が少しあったため／大枠は理解できました。ただ原子力機構はこれまで組織や人の問題が指摘されてきました。廃止措置30年にわたってそれを維持できるのか大変難しいと思います／一通り説明があり／専門的な説明になってしまうが、ある程度理解できた。国家の莫大な予算を使って造った「もんじゅ」を廃炉にせざるを得ない状況と言うのは国ももっと責任を感じるべきだと思う／長い経緯を足早に説明せざるを得ないため。なかなか理解が追いつかない／そもそも「もんじゅ」がこの様な事(廃炉)になったことへのJAEAの課題が曖昧である／自身の基礎となる知識が余りにも無かったため／資料が分かり易いものであった／真摯にとにかく抽象●が多い。組織ばかり作って複雑、責任のなすり合いの元。

■あまり理解できなかったと回答した方

当事者が分からない事ばかりと思うから／スライドが文章ばかりでそれを読んでいるだけだったから／資料に多く書かれていて、どこに注目したら良いか分かりづらいつ感じることがあった／難しい用語が多かったため／なぜ廃炉になったのか分からない。廃炉をきちんとしていく事が重要だという事は分かった

■まったく理解できなかったと回答した方

簡単に頭に入るプレゼンではなかったため

■不明(無記載)の方

文字が小さすぎて見えない。内容を理解して欲しいのか不明／何度か説明は聴いているので深くはないですが理解はありましたが、今日の説明で今一度理解できた事もありました

アンケート調査結果

■質問6:本日の基調講演の内容について、どのように感じられましたか？

たか？

【その他の内容】既に知っている内容／後継者育成の必要性は重要であると感じた

【回答の理由】

■大変興味深かったと回答した方

立地の思いを将来に●●●●●重要な視点と思う／過去のポイント、ポイントでの判断の理由等／資料に載っていない話を聞いた／新しい研究炉について、学術的価値だけでなく世論に影響を与えるだろう／新たな研究炉の考え方に興味。もう少し時間をかけて話を聞きたかった／両者の意見、方針等を同時に伺える機会はなかなかない為／福井県とのこれまでの関わり、福井県におけるこれからの役割について、もんじゅの位置づけが良く分かり大変勉強になった／新聞等で書かれている前提の所が理解できた
研究炉の必要性、人材育成等、未来指向の話が聞けて良かった／夢の原子力発電所に向かって熱い情熱を持って入ってきた人材は多いでしょうが、廃止措置人材に能力のある若者が集まるでしょうか／原子力の人材育成は今後の日本にとって重要なことと思うので是非、福井県がリードして欲しい／来馬教授の熱い想い／もんじゅは平成28年度に拠点化計画から外れたと思っていた／拠点化計画の期待

■興味深かったと回答した方

元行政マンの視点も面白い／もんじゅの跡地の研究炉の概要(水素拠点等)／もんじゅを白木地区に建設した当時の状況が理解できた／時間があればもっと詳しい内容を聞きたい／もう少し海外の発電所の話を聞きたかった。また「建設者が解体する」という事実が残酷だと思った／何よりも人材が大切。その重要性をもっと伝えて欲しい／廃止措置に対する意識の差について納得させられた／来馬教授が原子力のエキスパートであるから／来馬さんの話が興味深かった。前を向く仕事だと！／廃止措置に興味がある／立地地区とのつながり、事故の事、もう少し聞きたかったです／これまでの歴史にも触れられて分かり易かった／廃止後の活用分野が知り得た事／学生さんにとって廃止措置だけを学ぶのは大変つらいと思います。研究炉を新たに造る事は大賛成です／県民目線での現状把握／スーパーフェニックス視察のお話が興味深かった。先行している廃炉の実態状況が分かって良かった／3つの機構・立場の方々のsつ名が聞かれたので良かったと思う／廃止をすることの損失の意味があいまいな感じがして興味深い／「もんじゅ」により何が変わったのか、何の成果を得られたのか分かったから／経緯が理解できた。人材育成の必要性が理解できた／廃炉を前向きに考える事／人材育成とその人材の必要性、大切さ／人材育成、確保／来馬教授の廃炉事業の困難さ／人材育成の重要性は理解できましたが、具体的方策について詳しく知りたかった／廃炉に30年しかかからない／エネルギー拠点化計画、今後の研究開発はエネルギー供給の多様化の一翼を担うと思うから

■あまり興味を引かなかったと回答した方

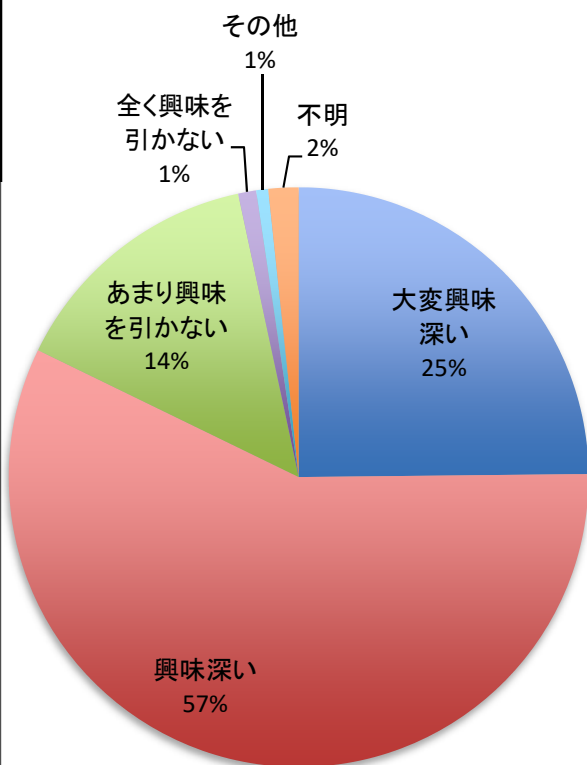
他力すぎるのでは？土地柄か？／もんじゅの成果があまり詳しく説明されていなかった／高速炉もんじゅの成果が得られたとは思えない。中途半端な状態で終わったのが本当のところではないか／成果で何が得られたのかよく分からなかった／計画の計画の計画では話にならない／内容に具体性が無かったため／説明もただ聞いているようだったため／廃止措置計画における燃料の状況を詳しく聞きたいと思いました(使用済み燃料の搬出及びナトリウムの搬出及び処理処分について)

■まったく興味を引かなかったと回答した方

成果と役割と言うテーマに無理があると思います／今迄聞いていたことであった。もっと本音を言って欲しい

■不明(無記載)の方

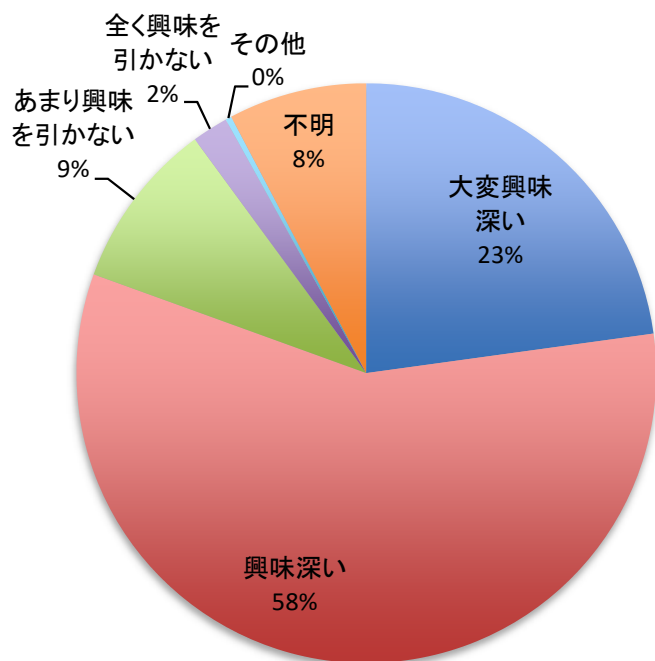
敦賀での研究、人材育成に全国レベルで人、物、金が集まるようにして下さい



肯定的回答 **82.2%**

アンケート調査結果

■質問7:基調講演後の意見交換会の内容について、どのように感じられましたか？



肯定的回答 80.5%

【その他の内容】一番大事な安全性の問題の説明が十分ではなかった

【回答の理由】

■大変興味深かったと回答した方

明野吉成様、伊藤筆様の安全に取り組むと言われた種々の言葉を聞き安心しました。しっかりお願いします/来馬先生の私見は共感できた/機構の技術を他分野に活用、関係施設が敦賀に拠点を設ける事等/否定派の意見は初めて生で見た。否定派の意見は安全の保障の為にとても大切だ/知りたい事が初めて説明があった/新たな研究炉の役割、よく分かりました/先を見る目、その為の人材育成、興味深かった/人材育成が現在の人材不足に間に合うのか不安である/安全に廃止措置が進められる事が感じ取れた/全体の事が聞けるので良い/来馬様の話は昔の事も含まれていて良かった。分かり易くて若い学生さんを育てて下さっている事に感銘を受けました/地元の今後のあり方を分かっていたい/地元の関心が将来に向かっていくことが良く分かった

■興味深かったと回答した方

リモコンの仕様は参加感が出た/もっと教授の思いを話してもらえると良かった。パネルにネタを残されたのか.../廃止措置計画については理想論が多く、現場の意見が反映されていないと感じる。設備の点検や安全には期間とコストがかかるが、全く認識していない/フォーラム出席者の知りたい事を中心に交換会がなされていた/それぞれの立場の意見を聞く事ができた/個々の意見を述べるだけでなく、討論会形式だともっと聞きごたえがあると思う/廃止することばかりでなく、明るい方向に向けて欲しい/廃止措置計画の全容が少し理解できた/最初の説明の時間よりは意見交換会での説明が詳しくされて良かった/現時点での経緯や状況は理解できた。知りたい情報を今後も吸い上げ、丁寧な情報開示を/廃炉に対するリスクについてのQ&Aの説明がよく理解できた/もう少しリモコンを使ったアンケートを盛り込みながら進行して頂ける構成になっていると興味を持てたと感じます/次世代のエネルギー開発等を解体作業と同じに強力的に進めて欲しいと思います/安全性が確保されている事が理解できた(今後の廃炉)/計画年数~実施計画が長すぎる/分かり易かったため/廃止措置計画についての説明がお聞き出来て良かった/会場の意見が良かった

■あまり興味を引かなかったと回答した方

一度説明を二度繰り返しているようなものだったため/表面的な回答/難しかったから/地元の産業育成が中心的な課題であった為、今後のエネルギー供給はどうなるのか/「政府か」という責任論で、これまでの経緯についての責任の議論がなされていない/元々の拠点化計画がどこまで達成されたのか不明/安心・安全との話ならすぐやれ/特に新しい情報がなかったから/未来は明るいとはあり得ない。偏り過ぎ

■まったく興味を引かなかったと回答した方

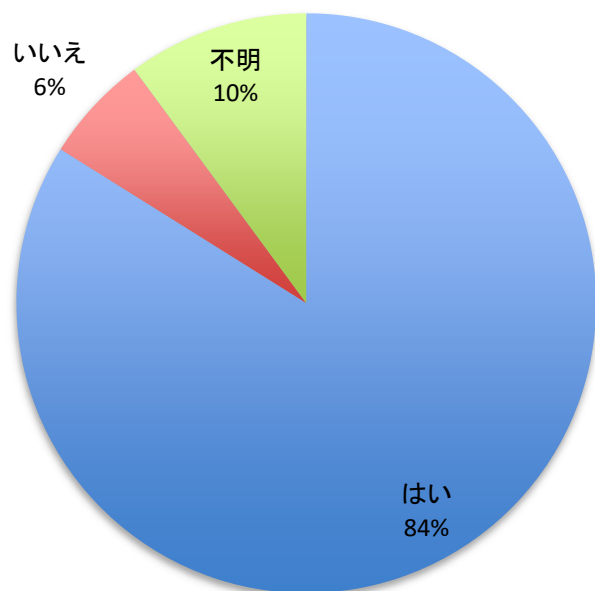
①拠点化計画は福井県の施策で、廃止となるもんじゅは未来がなく除外すべき。引き留めるような事は不要 ②廃止(倒産)した様なものに期待する事はナンセンス

■不明(無記載)の方

なし

アンケート調査結果

■質問8:本日の意見交換会は適切に行われていたと思いますか？



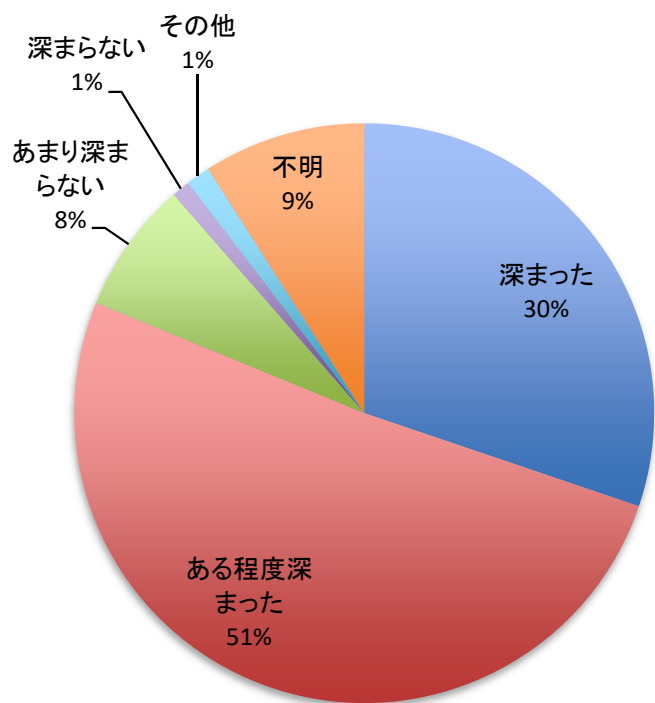
肯定的回答 83.9%

【「いいえ」とご回答した方へその理由】

しょうもない説明をクダグダやって意見交換の時間を無くしたのは作為的。パネリストの説明が長く下手／もっと来場者の意見を聞く時間をとるべきだったと思う／市民も交えては／パネラーはもう少し短く／パネラーの間での議論を行うという姿勢が認められなかった／夜ではなく昼に主婦が聞く事が出来ない。交通(バス)が夜はないので高齢者は参加できない／時間が足りないのでは？／原子力は廃止に向かうのだから淡々と廃止の話をして欲しい。今後のエネルギーは何に求めるのかについての話の方が良い／やったという事のためだけだった／リモコンの結果は本当なの？／意見交換時間を十分とるべき／拠点化ありきじゃなく、現在の課題の話をしっかりして欲しかった／もっと一般人の意見を取り上げると思ったから／二人の意見交換では少ない／どちらともいえない

アンケート調査結果

■質問9:本日、フォーラムに参加され、「もんじゅ」・原子力について 理解が深まったと思いますか？



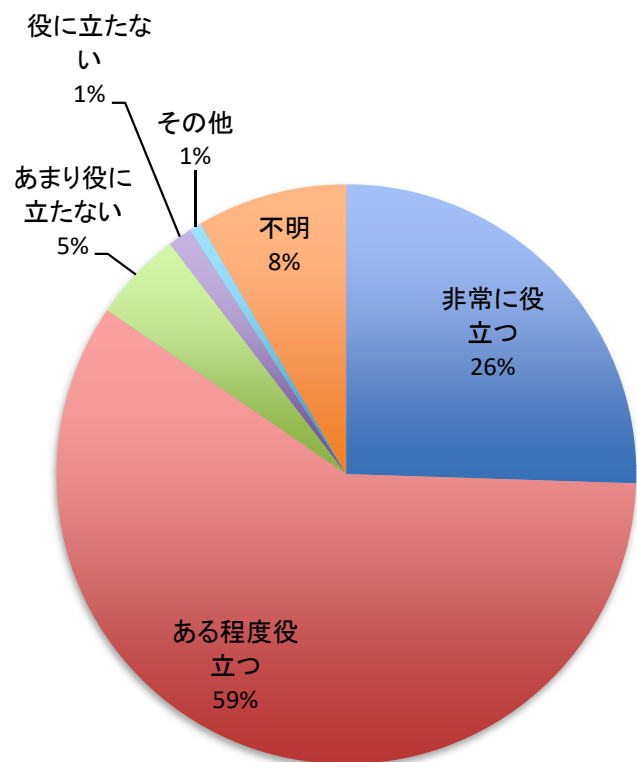
肯定的回答 **81.2%**

【その他記載】

理解するというより現実と知っておかなくてはいけない
と思って来た／元々知っている事／廃炉に至る要因、原因の周知不足。
なぜなのか理解不足／理解が深まるという質問が理解できなかった

アンケート調査結果

■質問10:本日のフォーラムは、「もんじゅ」・原子力についての理解が深まるのに役立つと思いますか？



肯定的回答 84.6%

【その他記載】

肝心な人達は参加していない／理解が深まるという質問が理解できなかった／廃止措置や発電方法が特殊な「もんじゅ」をテーマに原子力について理解を深めてもらうのは難しいのでは？

アンケート調査結果

■質問11:今後「もんじゅ」・原子力についてどのような情報を知りたいですか?

【自由記載-1】

計画の将来見通し。直前まで引っ張って突然計画変更なんて事はない様に前広に情報発信を/廃炉措置計画について/もんじゅについて理事が頑張られても現場がこのままでいいの?(ヒューマンエラーの多発)/新たな高速炉技術開発のロードマップ(具体的に)/抜き取ったナトリウムはどう処理するのか?燃料集合体は最終的にどう処理されるのか/廃止措置計画の各段階ごとの●●総括を行い公開して欲しい/「もんじゅ」の廃炉と研究炉の高速炉を同じ敷地で建設をどのように進めて行くのか?/安全を第一に廃炉措置をお願いします。安全だと言ってもやはりナトリウム(燃料)は怖いと思います/新しい研究炉。次の原子炉/どうなっているか。どうなっていくか/◎エネルギー基本計画見通しの現状 ◎地球温暖化に対する国の対応方針/今現在の状況、問題点について定期的に情報を聞かせてくれるフォーラムや説明会を開いて欲しい/新聞記事だけではなく、文科省がもっと能動的に分かり易い情報発信をするべき。今後はその情報発信がより重要になる/嘘をつかない情報/①福島事故の対策を具体的に説明する ②日本のエネルギー事情を説明し原子力の必要性/①廃止措置の進捗状況 ②核燃料サイクル政策/廃炉の進捗、拠点化の進捗/エネルギー拠点化への具体的な取り組みなど/もんじゅの●●今後見込まれる成果(●●●も含めて)/廃材等、どの様に管理するのか/今後の電力供給ベースについて/原子力の必要性について政治的に経済的に様々な角度から必要であると判断している根拠を丁寧に/もんじゅの失敗の責任は誰がどのようにとるのか、今後についても同じ様に失敗の責任のあいまいな状態が続き、言い訳めいた発言を終始する傾向が続いていくという事が心配/廃止措置計画を進めるにあたっての課題等/安全確保、廃棄物の処理(最終処分)、廃炉各段階での技術的方法(どの様に解体するのか)、研究拠点が地域の活性化、経済的効果があるのか/核燃料サイクルが今後どのように継続されるのか/文殊に変わる新研究炉の情報/拠点化計画の具体的なプラン/◎エネルギー研究開発、拠点化計画の具体化 ◎地元雇用確保の具体策/廃炉後の処分。最終処分及び中間貯蔵について/最新の情報/文科省の回答は具体性に欠ける。自らが何をするか、支援するだけか/国と原子力機構が協力して作業を行って欲しい。対立関係ではなく、国が原子力機構を後押し出来るような雰囲気にして欲しい/拠点化計画の進捗について/使用済み燃料の保管場所/各段階毎にこの様な説明会を設けるべき。その段階でどこまで出来て、どこが出来ていないの情報を知ってもらう機会が必要/廃止措置に係る予算と地元の恩恵について/◎安全に対する取り組みを具体的に聞きたい ◎過去に協力してきた地元に対しての対応をどうするか ◎手直しとチェックばかりで前に進んでいない印象がある/福島の事があってから、小さなトラブルをちょくちょく起こしている「もんじゅふげん」の機構に不安があり、市民の目がある事を、命を守るという使命感を持って欲しいのでその入口が情報を知る事だと思う/もんじゅから現場の状況や問題点、国県市にお願いしたことを公言して頂きたかった/エネルギー基本計画の内容/◎岐阜の地下処分地の見学予約についてもっと簡単に予約を取れないか?なぜ4F分は螺旋階段なのか疲れます ◎日本はCO2削減についてはやっているが、それと並行して温暖化対応策もやらなければいけないと言われているが、今後「もんじゅ」や福井県の原子力としては何か具体的な考えはあるのか? ◎工業試験場の5月の見学会等で展示をしなくなったのは残念である/廃炉にもなって放射能が含まれる材料が沢山出ると思うが、それらのものが何処へ蓄積されるのか国や県はその問題を具体的に示して欲しい/使用済み燃料の今後の取り扱い法。中間貯蔵の可能性と取組/他の原子力の廃止措置に関する情報/「もんじゅ」の廃止と処理工程。文科省のもんじゅのスキーム策定の情報。グローバルな視点から適切に廃止処理が出来るのか情報公開、福井県民との対話型説明会/全ての情報を開示して下さい。といっても当事者能力が期待できない

アンケート調査結果

■質問11:今後「もんじゅ」・原子力についてどのような情報を知りたいですか？

【自由記載-2】

冷却で使われているナトリウムに代る物があるのか、候補はあるのか？試験研究炉はどこに建てるのか／廃止措置の主な工事内容と安全対策についてもう少し詳しく知りたいです(他の廃炉とは違い高速炉の廃炉と言う事で更に安全対策が必要だと思うので) /「今後」について知りたい。再稼働の後はどうするのか？2030年計画の後の目標はどうするのか？国の国民の考え方を聞きたい／廃炉迄の時間が長い。40年使って30年かけて廃止。こんなに時間と人が必要なのかと初めて知りました。安全に出来る様、情報公開して下さい／ナトリウムの扱いについて。エネルギー拠点への話は揭示されていますか／エネルギー研究開発拠点化計画についての情報／数ある物資からなぜナトリウムを使用するようになったのか／原子力の就職について。転職が無いような福井の原子力の企業等が知りたい／原子力による発電に未来はあるのか？なぜ福島のような事故があったにも関わらず原発がなくなるのか／もんじゅを今後どのように廃止措置を行っていくのか等をもっと詳しく学びたい／廃炉措置工程の詳細／廃止についての工程や安全性、信頼を広める手段・方法。地域の方々の意見(本音)／もんじゅの廃止措置の経過とリスク管理の報告。一般商業炉の今後についての情報／今後の廃止措置に向けての課題。課題があるとすれば対策、考え等はあるのか。廃止に向けての作業で、廃棄物のその後処分はどの様におこなうつもりなのか／廃止にどれくらいの費用がかかるのか？新たな研究炉をそこに造っては駄目なのか？もんじゅと何が違うのか？もんじゅでは今後、研究がなぜできないのか？そもそも他の原発と何が違うのか？／リアルタイムな情報を知りたいと思います／今後のもんじゅ廃止措置計画について及び試験研究炉の計画について／安全性についてより詳しく把握しておきたい／安全に廃止措置が行われているか／今後の高速増殖炉の研究・開発に福井県はどの様に関わっていくのか／廃止措置人材育成に関して／朝鮮半島からの武力攻撃に対する対応策。もんじゅの様な研究炉の必要性(日本に要するのか？費用対効果等)／何事もやる事が遅い。関西、東電は誠意が無い。「もんじゅ」に税金の無駄遣い。今まで幾らかかったんや？／廃止措置への取り組みについて経過情報を定期的に流して欲しい／福島の事故後の原子力の国民理解は決して進んでいないと思います。廃止措置も含めてしっかりと取り組んで欲しいと思います。そして国民の理解が深まったかどうかの定期的な調査の実施とその内容の公開が必要かと思えます／人材育成／もんじゅが廃止になった真の原因と反省を今後の活動にどの様に活かすのか／研究開発の成果 正確な発電コスト比較並びに環境影響 廃炉に伴うリスクの情報／もんじゅは単純に組織の問題で批判が大きくて廃止措置になったが、技術安全というより駄目な組織の問題ですよね。なぜ組織が駄目だったか知りたい／◎燃料の今後の保管、活用を更に詳しく知りたい ◎廃棄物の長期的な保管はどうなるのか／福井県内15基(関電11、原電2、機構2)の安全確保対策等周知すべき／もんじゅで培った技術が身近で●●に活用されているのか、これから活用されるのか発信して欲しい／自分達の生活にどの様に関わってくるのか？専門知識よりも今後の展開を具体的に／原子力の必要性和役割について一層の周知方策、対応について情報の発信が必要／使用済燃料等、放射性廃棄物の処分について／◎使用済燃料やナトリウムが安全確実に搬出され、計画通りに終了する事を確認したい(ふげんの使用済燃料のように送れないように) ◎今回の新聞でもあった放射性廃棄物をしっかり出していきたいので、その進み具合も教えて欲しい／①廃止措置の定期的な情報公開 ②来馬先生の進める研究炉の情報公開／◎新たに国が整備すると説明があった試験研究炉についてどの様な検討を行っているのか、いくのか ◎人材育成としても大事だが、地元企業のためにも産業創出に関わるものである●●があり、地元企業等の意見等も聞くべきかと／地域振興に今後いろいろ役割を果たしていくのか？もう少し詳しく知りたい／リアルな資金の動き 国→県→市町村→人→税金／もんじゅにかわる試験研究炉の具体的な役割／どのようなエネルギー研究が進められ、我々の暮らしにどう関わってくるのか具体的な情報／廃止措置計画の進捗状況をこまめに確認したい／核燃料サイクルのあり方について

アンケート調査結果

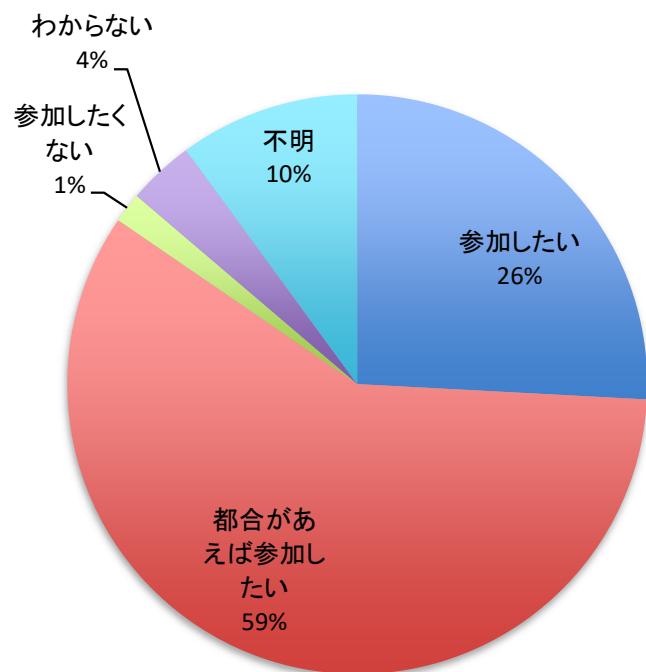
■質問11:今後「もんじゅ」・原子力についてどのような情報を知りたいですか?

【自由記載-3】

原子力についてそもそも詳しくないので初歩的な解説をして頂けると良いと思います/これまでもんじゅを設置、稼働させてきたことによる技術の蓄積が今後どのように役立っていくかを具体的に知りたい/福井県人としては核燃料の県外搬出の時期を知りたい。又、核燃サイクルの今後のロードマップが知りたいです/◎原子力の安全性向上の為には人材育成が重要であると認識しました。地元福井県にはどのような人材育成プログラム及び施設があるか知りたい ◎廃止の事業への参画はどうすればいいのですか(企業)。原子力の実績はないのですが/廃止措置に地元企業の促進とあるが、どの程度なのか?/◎もんじゅ廃止後、どのように高速炉開発を進めていくのか知りたい ◎原子力のリプレース、新增炉の方針/廃止措置の進捗状況/高速炉で賄う計画であった電力を今後何で賄う予定なのか?人口減少、省エネ技術の伸展によるエネルギー消費減との関係シミュレーション/ナトリウムについての安全性が気になるので、話の中に含んで欲しかった/廃炉措置の経過/どう廃止をしていくのか随時報告を頂きたい/解体作業内容を段階的に明確に地元住民に伝える事が一番重要だと思います/1000人の雇用を10年維持するとの事ですが、収入のないもんじゅで資金源は何処にあるのでしょうか?税金なのか?何れにせよ国民負担なのではないでしょうか?不要な雇用を無理に維持するのは無駄だと思います/エネルギー研究開発拠点計画の進捗状況。敦賀・美浜エリアの今後の発展に資する役割、取り組み/核のゴミ地策の取り組みを知りたい/今までにどれくらいの経費を使ったのか、今後どれくらいの経費が必要なのか。時間と労力、経費はこの様な機会にはきちんと示してから話すべきだと思います/国のエネ政策(原子力の位置づけ等)/もんじゅの成果がどの様に活用されるのか/廃炉の安全対策が強調されたが、過去の事象を繰り返してほしくない/燃料ハンドリング経験者が殆ど居ないと聞いている。どう対応するのか?/ふげんの行程を延期するという新聞記事を読んだが、もんじゅは計画通りに進める事ができるのか?また燃料棒のナトリウムを水で洗い流すという説明があったが、ナトリウムと水が反応して過去の事故のようにならないのか?/敦賀、美浜、ふげんは廃炉について企業への説明会がありましたが、もんじゅとはそれらとの連携はないのでしょうか/燃料取り出しが困難と記事になっていましたが、技術的な見通しを教えてください/◎危ないと思われなくなった原子力にたいする理解活動とエネルギー需給率とエネルギー基本計画の関連性の明確化 ◎環境問題、温暖化と世界規模でのエネルギー問題/◎状況を細かく ◎かしこまった形ではなく、親しみやすい●●を欲しい/人材育成計画について(先行の海外事例を含めて)/新基準規制について詳しい事が知りたい。私も発電所で働く者として新基準対応の工事は行っていますが、どうすれば国が求める基準がクリアできるのかが分からないので/国の方針だけで方向がすぐ変わってしまう原子力情勢になっていると感じる。原子力は簡単に終わることではない。どう考えられているかを情報としてオープンにして欲しい。廃炉の有効性を国が伝えて欲しい/廃炉だけではない新しい産業として何が出来るのか具体的に知りたい/田原研の人はNRAで活躍されています。もんじゅの支援に何故、旧原研の人材を使わないのですか/ロシアのFBRは商業炉段階と聞いているが、高レベル放射性廃棄物の減容などに利用させてもらう事はできないですか/今後の日本国内の少子高齢化が進み行く中で、原子力技術者の維持・育成が成り立っていくかどうか/廃止措置が将来の原子力研究開発に役立つよう関係者の一層の努力をお願いしたい/廃炉が終わってから研究炉を造るのか。廃炉の工事中にもんじゅの敷地内に造るのか/日本の高速炉研究はどうか/どのような研究炉を造るのか/エネルギー研究開発拠点化計画/高速炉(研究炉)の建設について/廃止の計画をしっかり町民に伝えて欲しい。文章だけでなく、各地区へ出向き、直に伝えて欲しい

アンケート調査結果

■質問12: 今後もこのようなフォーラムに参加してみたいと思いますか？



肯定的回答 84.6%

アンケート調査結果

■質問13:その他、お気付きの点がございましたら、ご自由にお書きください。

【自由記載-1】

原子力の専門家と一般市民とのコミュニケーションを目指すのであればもう少し分かり易い資料とすべき。せめてOHPポインターで示せ。機構任せにせず政府が主体的に検討・調整を行うというが、素人だけでは頓珍漢な議論しかできない。機構と「一体となって」という気持ちになれない。福井県、敦賀市が納得すれば良いのか？政府が国レベルの対応を忘れてのでは。燃料は再処理するのか？廃炉処分にするのか？直接処分は考えないのか？技術的安全も最近の日本はおかしいが、人の安全(信頼性)が重要。カメラマンがうるさい。そんなに何枚も撮る必要があるのか？/研究炉など造れるの？敦賀地区は先細り経営でないと言えるのか/燃料の最終処分の問題をパイオニア的に行って欲しい/①新しい高速炉(研究炉)を将来の安全な産業に役立てるような高速炉の研究をして頂きたい ②エネルギー研究開発拠点化計画を是非進めて欲しい/人材育成に力を最大に活かして欲しいと思います。人材の向上を一番に求めます。もんじゅの廃止措置には安全を一番に求めます。これからの5年間をしっかりと拝見させていただきたいと思っています。レーザー共同研究開発利用技術の学生さんに積極進める的に勉強の場を広めて欲しいです/もっと一般の人が関心を持つ方法を工夫して欲しい/◎パネルディスカッションは非常に良かった。3名の想いが伝わった。時間をもっとさくべき ◎使用済み、核燃料、プルトニウム野県外搬出の可能性について伺いたい。スーパーフェニックスではサイト内処分なのであれば県内の可能性もある。是非、推進してもらいたいし協力していきたい/◎エネルギー研究開発拠点化計画についての簡単な資料があったら良かった。もんじゅを踏まえての…という流れだったかと思うが、もんじゅの状況について詳しく知るには至らなかった。意見交換会がメインだったのであれば仕方ないのかなと思います ◎リモコンでのアンケートは初めてだったので、もう少し細かく意見交換会の内容を選んでみたかったです/廃炉に30年かかる。私はそれを見届けられない。廃炉迄に福島のような地震・津波が来ても大丈夫だろうか？安全第一に取り組むと言っても想定外の事故はつきものだから/今回は「内容●●」だったのもともと興味のある人には良かったと思う。一方でそれ以外の人にPRするには工夫がもう一つ必要と考えます/国が一方的にもんじゅを廃炉としたが、日本のエネルギー自給率7%を考えればもんじゅの研究開発は必要ではなかったか。政府の考え方が今でもよく分からないし、日本の100年、200年後、エネルギーの確保をどうするのかを考えて欲しいと思います/原子力とエネルギーについての将来が見通せない状態で、将来を担う技術者を志望する人材が果たしているのだろうか？また育てられるのだろうか？その人材が居たとして、その将来をどう約束できるのか？/研究開発が必ずしも産業化につながるものではない。産業化を第一に考えるのであれば、売れるものが生産出来なければ短期間で産業化につながらない。一方、新しい技術はどのように活用されるか予想もできない。産業化を考えるのであれば経済の専門家にも議論してもらう事も必要。技術が開発されれば産業化につながるという発想だけでは地域の発展にはつながらないと思う/【拠点化、産業創出について】産官学、三者のそれぞれが創出に向けた場に入って行く事が必要。一方で拠点化20年やったが十分に創出されていないこの原因は何か？そのような場に参加したくても出来ない。参加する意欲がない。色々あると思うが、来馬先生はどう思うか？来馬先生の発言を。もっと多く話をしてもらおうと良い/安全と言う言葉を安易に使い過ぎ。具体性ない/来馬教授の講演時間を長くして欲しい。特に県庁での取り組みが原点にあると思う/検討中の事項が多く、エネルギー拠点化として敦賀市が成立するか気になります/会場へのアクセス(交通機関)が無い。交通の便を考えて欲しい。研究開発の拠点化→第2の東海村を作っても地域の開発はもう昔の夢です/今後共の継続して開催をお願いします/参加者の年齢層が高いので、若い世代に関心、参加してもらう仕組みが大事だと思います/資料及びアンケートを読むのに会場照明が足りない

アンケート調査結果

■質問13:その他、お気付きの点がございましたら、ご自由にお書きください。**【自由記載-2】**

それぞれの立場の人がそれぞれに努力されているのは分かるが、本当に計画通りに進むのかはこれまでの事を思うとすごく不安である。不安がなければ次の研究開発に進むのも分からない事もないが、この先の5年を信じていいのだろうか？ナトリウムはどこに？決まっていけないのも？燃料はどこに？今日聞いた事を信じてもいいのですか？／今、技術者の人材不足が深刻化している中、予算が足りない中、それを表に出さずして国県市、原子力同業者の協力は得られないと思います。現場に注目してもらわなければならないのでしょうか？夢を持たせるには人の補充が第一／【質問】もんじゅの廃炉には時間がかかるが、耐震性等新規制基準はクリアされているのでしょうか？元々の拠点化計画がどこまで達成されたのでしょうか？／◎意見交換が少ない ◎テーマの説明が長すぎる。余計に分かりにくくなっている ◎来馬先生の話をもう少し本音を聞きたかった／◎工業試験場の5月の見学会等で展示をしなくなったのは残念である ◎再稼働できなくなってから一般に対して下向きであったと思う。17-8年、原子力の事を聞き学んできて、未だ賛成でも反対にも偏らない考えです ◎間伐材を利用した封筒は国有林モニターも使用していて懐かしかった ◎TVバラまで数学者 岡さんが認められるまでのをやりました。ノーベル賞の化学のメダルには自然の女神と化学の女神と一緒に刻印してある。どちらもバランスよくあって地球は成り立つと言ってます。だから原子力について賛成でも反対でもありません。福井の自然と原子力のバランスを大切に思う。フォーラムに対してお金で来ている人がいませんように。相撲協会、レスリング協会、コーモ等、団体系のなれあい、権威などについてどこかが圧力を加えるといったような不公平なことはありませんように ◎部屋がおじさん臭かった ◎拠点化計画の事務所って若エネ研にあったが、今まで何の役目を果たしてきたのかなと思う。一般人にはわからない ◎解体しても地震・津波対策などは最後まできちとなされなければならない。南海トラフ、千島の海底のずれこみによる津波は今の想定を超える高さであること、日本海にもそういう海底に危ぶまれる所があり、石川～京都におよび津波が来ると言われているが何か策を考えているのだろうか？◎中間貯蔵可能な所の発表として日本の海岸の大方が可能と発表されたが、あれを見て誰も反論反応をしなかった。こういう機関があって国が出せというから出したと思うが、何を根拠に発表したのか良く分からないのが素人の私でも思う ◎関東の大洗のようにへんなボンミスで放射線バケツでかき混ぜたり、蓋を開けて飛び散ったようなミスを起こすような研究所であってはならないと思う(そういうことにはならない研究所に)。被爆した人をどうやって運び、治療する時の手順はきちんと確立しているのか ◎水素を公共交通や原子力発電所のバス等にも使うべき。水素燃料はまだよく技術が進んでいないのか ◎再稼働から廃炉決定まで沈黙が長かったと思う ◎拠点化計画、これからのことは分かるが、これまでは何をしてきたのかなと思う ◎個人のモニターを昔のように設置しないのか？ ◎話を聞こうとすると文科省管轄だとかコーモがやってることとかはぐらかされて連携的な事がみられないこともある ◎3月末までに燃料取り出し搬入先が決まらずぎりぎりになって9年後に先延ばしにした。長い期間のように思うが短いと思う。その間に本当に決まると確約出来るのであろうか。他国が決まらないから日本も決めなくて良いという事はない ◎アラブ首長国連邦の中のドバイでは石油が出てもそれに頼り切らない国づくりとして観光や科学の発展とともに自然を多く取り入れている。日本全体でなくても原子力の福井県として科学とそれに対する自然の取り組みを行いバランスをとるべきである。ドバイでは3Dプリンターを使い建物を造っているそうです。すぐできる。日本も何かこういうものを使い、多い災害に対してのいろんな対策、取組として良いアイデアができれば良いと思う

アンケート調査結果

■質問13:その他、お気付きの点がございましたら、ご自由にお書きください。

【自由記載-3】

前総理 小泉氏等、原子力不要論を大々的に展開しているが本当に原子力は不要なのか？必要性があるのなら全国民が理解出来る様に普及すべきと思う。東北地震以来、平凡な一般人は非常な不信感を持っている。ノー資源国、地球上の資源が無くなった時の為に必要なのか、私達平凡人には納得がいかない点が説明に沢山あります。今まで原発安全100%と言われた説明に洗脳されてきた私達は何を信じていいのか今は不明です/アンケートをその場でとる方法は良いけれども、集計方法の“見える化”をしてもらいたい(若干の不信がある)/エネルギー庁と文科省は「もんじゅ」についてどのような役割分担なのか？原発、もんじゅ関連の市民団体と少数制のパネルディスカッション、意見交換会の開催をお願いしたい。スマートエネルギー福井会 会長 井上義一 国内外の「もんじゅ」のような施設見学会をする事でより理解が深まると思います/フォーラム参加連絡先 石森修一郎 e09032929263@gmail.com 連絡をお願いします/高速増殖炉とBWR、PWRに立地条件等に関する違いはあるのだろうか？/今回のもんじゅフォーラムでは政府側からのもんじゅについての取り込み、原子力機構側からの取り込みなど、もんじゅの廃止措置についてお話をいただき、地元の方々からの意見等を聞いてプラスの方向に作業を行っている事等はよく理解できたが、廃止措置に関する際、伴う負のイメージや負担についてのお話、廃棄物処理に対するお話が聞けなかったのは残念です/そもそもなぜもんじゅのような研究炉が必要なのか？そこが知りたかった。寝ている人が多いので午前の開催の方が良いのでは？基調講演より意見交換会の方が聞き易かった/電気に反対する者には電気供給するな。他県で処分は無理。嶺南の海を埋め立ててコンクリートで固めて処分しかないやろう(地下深く)。10年も先の話では…。他県の人は何も関心ないよ。電気は欲しいが危険な物は要らんと…。滋賀、京都、馬鹿にするな/◎本日のフォーラムの目的は県民、市民の理解を得る為ではないのか？説明の内容は確信にはふれず、表面上の話だけで、我々が判断できる情報は含まれていなかった ◎拠点化構想の具体的な目標(明確な目標)と達成の為の手段、スケジュールを明らかにして欲しい。達成できるかわからない課題があれば、どの点も明らかにして進める必要があるのでは/(疑問) ◎運転も40%出力まで自慢できる？ ◎何程も動いていないのに成果はあるの？ ◎使用済み燃料は何処へ？ナトリウムはどのように処理？使用済み燃料、ナトリウム共にまず先に行き先まで決めてから作業すべきでは？ ◎敦賀市に動いている原発はないのに研究人材育成とは？(民間とスタンスが違う。仕事観) ◎原子力研究分野を目指す学生が減ったのでは？ FBR研究を志す研究者も育たないのでは？ ◎原子力機構の士気が下がっていると聞く ◎廃炉技術分野に地元企業参入メリットが無い。元からノウハウを持っていないし、一からやるので駄目/十代、二十代の世代が希望を持ってチャレンジしたい学生さんに魅力あるものに対策を講じていくべきだと思います。頑張ってください/意見交換会に時間を割いた方が良い/廃炉に到った事は非常に残念ですが、最大限もんじゅの知見を活かして下さい/パネルディスカッションの来馬先生の話が予定調和的でなくて良かったです/廃止措置は長期に及ぶ為、次世代を担う若者が参加しやすい取り組みや工夫を/◎パネルディスカッションはリモコンでアンケートにより参加者が関心のあるテーマを優先して取り上げてもらえて良かった ◎若者が多く参加しているのが良かった/◎福井の人達は国や原子力機構に不信感、不安感を持っています。これを取り除くには国、原子力機構の誠意をもって対応していただくことしかないと思います。地元は原子力の運転、廃炉の安全、安心に強い関心、不安を感じていただきたい/◎来馬先生にもっと広く県民に向けてメッセージを発信して欲しい ◎福井工業大学、福井大学、国、県、敦賀市、企業、マスコミが協力して研究炉新設を実現していきたい/関係者も多くアンケート結果は参考程度と思う。まずは今後の廃炉の方法、実現性について周知していくべき/残念だった

アンケート調査結果

■質問13:その他、お気付きの点がございましたら、ご自由にお書きください。

【自由記載-4】

原子炉と言う被爆等の良くないイメージが先走ってしまい、県民の理解を得るという事が難しいのだろうと感じました。私自身も今回のフォーラムに参加するまで、原子炉についてあまり良いイメージを持っていませんでしたが、パネリストの方々の熱い想いとこれまでの過程を知り、考えが変わりました。住民に情報を発信し、理解を正しく得る活動がこれからも増えていって欲しいと思いました/普段詳しく聞けない事にふれられて良かったです。地元民として知っておかなければならないと思いました/エネルギー研究開発拠点化計画によって、福井が原子力以外の産業発展のための拠点になっていくのであれば、もんじゅを誘致・推進してきた意味も出てくるのではないだろうか/廃止の作業の進行状況を含めて次年度もフォーラムを開催して欲しい/再生可能エネルギーの可能性、二次エネルギーをつくる一次エネルギー供給について政府はどの様に考えているか興味がある。12月末の高速炉計画、エネルギー基本計画について知りたい/機構の直接関わる人達がフランスやドイツへ行くべきだと思った。政府が責任を持ってとよく言うけれど、私達が信用出来るのは現場の人なので説明会も頻繁に開いて理解を広めていくべき。広報が大事。若い人を育てるのも大事だけれど今の現場の人の考え方を変えていくべき、しっかりするべきだと思います/もんじゅの地域は敦賀市ですが、美浜地区を通って行かなければ仕事等が出来ないと思います。美浜地区があつてのもんじゅだと思いますので、美浜の事を考えて欲しいと思います/高速増殖炉の研究はとても大事だと思うので続けていって欲しいです。核燃料サイクルがうまく回る為の要だからあきらめないで欲しい/フォーラムが「ガス抜き」「アライづくり」とならないように住民に伝える努力を続けていって欲しい/エネルギー研究開発拠点化計画にかかる文科省や原子力機構の主体的な取り組みを期待する。地域への具体的な持続的な発展に資する取り組みを期待したい/何かを始める時は希望に満ちているが、その先の事(成功だけでなく解体となる事)想定しづらくてもしていく事も必要だと考えさせられました。パンフレットが字ばかりで分かりにくいです/まず廃止措置の安全と廃棄物の処理の確立と並行して新たな研究が必要と思う/意見交換会ではせっかく話の上手な方が来ていただいているので、舌戦を交わしていただき良かった/◎よく人材がとは語られますが、他の廃炉事業がある程度マッピングされている中、特定の個人が変えられるとは思えないのですが… ◎国が関わるもんじゅより、他の廃炉対象の炉の方が他の流用に飛びつき易いと思えるのですが、どうでしょうか?夢より現実に地元企業に貢献出来る形を見せて頂きたいです。それが国営の出来る事とは思いますが…/◎原子力の立地地域と消費地における考え方の違い。危ないといかない消費地は立地地域をもっと知るべき ◎廃炉となる事での立地地域の不安 ◎共存共営/◎沢山の人が参加していて良かった ◎もっと沢山の人の興味を持ってもらいたい ◎これまで失敗があつた時に情報がしっかりと出て来なかったのは失敗は絶対にあつてはならないという職員の意識が高すぎたのだと思います。失敗はするもの、その後の対応が大切だと思うので、隠さずすぐに情報が欲しいし、地域に密着した事業をして欲しい/発表される言葉の中に英語や専門用語が使われすぎです。地元への歩み寄りのためにも分かり易い用語や説明が必要。若い人材に対する原子力への誤解を解き、正しい理解を得る為の情報の発信が必要である。もんじゅや原子力で働く人は重要な人である事を国から伝えて欲しい/拠点化計画や大学からの若者の育成をとの事でしたが、現在、原子力という学問の人気はどのくらいなのでしょう?例えば今年大学受験の生徒は3.11当時は小学生ぐらいだと思います。当時はかなり衝撃的なニュースとして受け止めたと思いますが、その影響はあるのでしょうか?/もんじゅとは元々開発部門だと思っておりました。一度ミスした時、それで駄目とはおかし。一度~二度どうするか考える●先へ研究すべき所ではない/音響が良かった。進行の阿部さんも上手でした/今日までの多年にわたる研究開発と莫大な投資が無にならないよう関係者(機関)の責任と努力をお願いしたい/原子力人材育成に頑張ってください

アンケート調査結果

■質問13:その他、お気付きの点がございましたら、ご自由にお書きください。

【自由記載-5】

放射能を制御できる日は来るのだろうか?このフォーラムは有意義であった。参加させて頂いて良かった/もんじゅの廃止についてより、美浜町民、福井県民としては国の原子力政策について興味があり、動向に注目していきたいと思えます/マスコミから廃炉の報道しか聞かされない。しかし今日このフォーラムで少しずつ今後はどうするのかと聞き分かりました。今後も若年人材を採用し、研究、技術開発をしていって下さい。今日はありがとうございました/白木地区民、白木区に迷惑料を払った?白木地区はもんじゅに●々●に翻弄された。全国から汚い白木地区になったという事の名誉挽回は●?汚名返上策が全くない。今日は大臣が来ない。知事も出て来ない。おかしいぞ!/40%まで運転したのであれば100%までいけたのではないか?廃炉に至ったプロセス、技術的な面、組織面。入居間近なマイホームを壊すという心境である。もんじゅ建設工事従事者のつぶやき/地域振興についての項目を設けても良かったと思う/立地地域に気を使った内容の話が多い。原子力機構に任せて大丈夫か?/先行する海外の技術や経過、結果等の説明があっても良いのでは/時々この様なフォーラムを定期的に実行して欲しい